JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2020

ウッドデザイン賞

2020

入賞作品集

ライフスタイル ｜ オフィス・会議施設　入賞5

一場木工所オフィス（広島県）

（有）一場木工所（広島県）、（株）河本組（広島県）、（株）HUG（東京都）、（株）MID研究所（東京都）

概要　平屋の非住宅木造のロールモデルとなるオフィス。女性だけの木工所なので子育てしながら働きやすい設計とした。自社製品を体験してもらうためのショールームでもある。また、セミナーやワークショップやイベントなどで多くの人が集まれるコミュニティ施設でもある。柱のない大空間を木造で実現した。

評価ポイント　LVLによる4メートル超の庇や集成材を使った10メートルの大開口など、多様な木造技術を駆使した開放的で使いやすそうなオフィスを実現した、チャレンジングな建築である。木の魅力を伝えるための様々な交流活動にも使える配慮に好感が持てる。

【閲覧先（連絡先）】
https://hinata.life/

ライフスタイル ｜ 店舗・商業施設　入賞1

宍戸庵（茨城県）

（株）宍戸国際ゴルフ倶楽部、（株）白浜誠建築設計事務所（東京都）、東熱パネコン（株）

概要　ゴルフコース内に建設された第二クラブハウスの改修。20年以上使用されていなかった建築をプレイヤーの休息の場所として再生をおこなった。

評価ポイント　ゴルフコースと連続した蕎麦屋という条件のなか、コースのランドスケープの質感を木の持つ温かみでうまく表現した。緑に囲まれたコースのなかで、汗を流した身体を癒しながら、木に囲まれてゆったりした時間を過ごせるような空間に仕上がっている。

【閲覧先（連絡先）】
https://www.shishido.co.jp/shishido/

ライフスタイル ｜ オフィス・会議施設　入賞6

ROOFLAG賃貸住宅未来展示場（東京都）

（株）マウントフジアーキテクツスタジオ一級建築士事務所（東京都）、大東建託（株）（東京都）、東急建設（株）（東京都）、ARUP（東京都）、銘建工業（株）（岡山県）、（株）ストローグ（富山県）

概要　江東区東雲に位置する展示施設。大断面のCLT128ピースを、三角形を単位とした組子状に組み上げることで、最大56mもの大スパン木架構を実現した。270×2300mmの大断面が木材でありながらも接合部での確実な応力伝達を可能とし、運搬最大長12mに縛られない、新たな木造大空間の普遍的方法を確立した。

評価ポイント　賃貸住宅の未来を見せる展示場という趣旨のもと、木材を活用し、大スパンで開放的な空間に挑戦した点にサステナビリティという明確な意図が感じられる。CLTで構成されたアトリウムの天井から注ぐ自然の光が空間をさらに柔らかなものに感じさせてくれる。

【閲覧先（連絡先）】
https://www.kentaku.co.jp/rooflag/

ライフスタイル ｜ 店舗・商業施設　入賞2

椿茶屋（長崎県）

石飛亮建築設計事務所（神奈川県）、五島自動車（株）（長崎県）、（株）松岡建設（長崎県）、草草社（長崎県）

概要　長崎県五島列島の福江島の飲食店のリニューアル。豊かな自然の中で、島の新鮮な食材を囲炉裏で焼いて堪能することができる。建て替え前の茅葺き屋根の雰囲気を踏襲しながらも、五島らしさを兼ね備えた建物を目指した。周囲の自然との調和を実現するため、外装および内装には可能な限り木材を多く用いたデザインとしている。

評価ポイント　地域の独特の建築形式を再解釈して建てられている。風景との親和性を保ちつつ、古材を再利用した囲炉裏テーブルなどがある内部は懐かしさも感じさせる。ここで味わう地元食材も合わせ、地域の魅力を堪能できるだろう。

【閲覧先（連絡先）】
https://goto-sight.com/cyaya/cyaya.html

ライフスタイル ｜ オフィス・会議施設　入賞7

PARK WOOD office iwamotocho（東京都）

三菱地所（株）（東京都）、（株）三菱地所設計（東京都）

概要　CLT板を床構造材に採用した8階建てオフィスビル。高層非住宅建物におけるCLT利用のモデルケースとして計画した。施工性・経済性を向上する設計及び新仕様開発に取り組んだ。外壁、エントランス、事務室等の目に見える場所に積極的に木材を使用し、木の建築であることを表現した。

評価ポイント　1時間耐火認定を新たに取得したCLT床新仕様の階数に応じた使い分け、CLT と鉄骨梁の簡易な接合方法の開発など、新規性ある取組が見られる先進事例である。外装やエントランス、内装などに木材を多用して木の建築をアピールし、木材の良さを感じるワークスペースを創出している。

【閲覧先（連絡先）】
https://search.sunfrt.co.jp/building/13163/

ライフスタイル ｜ 店舗・商業施設　入賞3

池袋西口公園 GLOBAL RING CAFÉ（東京都）

三菱地所設計ランドスケープ・プラス共同企業体（東京都）、豊島区（東京都）、大成建設（株）（東京都）

概要　池袋西口公園GLOBAL RING CAFÉは、池袋西口公園の改修プロジェクトの一環として新たに建築された、木造一階建ての飲食店・公衆トイレである。飲食店、多言語対応型のインフォメーション機能、公衆トイレとしての機能を併せ持つ。木材(国産材)の特性を活かした意匠と構造が特徴的な建物である。

評価ポイント　燃えしろ設計の採用によって、木材現しの店舗、交流施設を実現しており、都心の駅前のシンボル的な存在になった。国内外から多くの来場者が訪れる場所ゆえ、木材を活用した建築の発信力はインパクトがある。ユニバーサルデザインに配慮した空間づくりも良質である。

【閲覧先（連絡先）】
https://globalring-theatre.com/

ライフスタイル ｜ オフィス・会議施設　入賞8

三井ホーム熊本支店（熊本県）

三井ホームコンポーネント（株）（東京都）、（株）志垣デザイン店（熊本県）

概要　熊本の象徴である県庁通りの角地に面する、三井ホーム株式会社熊本支店新社屋。カーテンウォールの吹き抜け大空間が特徴的で、熊本では珍しいツーバイフォー工法による大規模3階建木造ビルであり、事務所としての利用の他、ギャラリーやデザインセンターも兼ね備えた商談の場としても活用されている。

評価ポイント　道路に面した吹抜けのギャラリー空間の木質感と植栽の緑が印象的な建物で、街に開かれたショールームの趣きもある。木造3階建ての1時間準耐火構造であり、無理のないスタンダードな木造建築のオフィスとして良質なモデルの提案と考える。

【閲覧先（連絡先）】
https://www.mhc.co.jp/example/detail.html?no=44

ライフスタイル ｜ 店舗・商業施設　入賞4

CLT PARK HARUMI（東京都）

三菱地所（株）（東京都）、（株）三菱地所設計（東京都）、（株）隈研吾建築都市設計事務所（東京都）

概要　国産CLTの魅力を国内外にアピールすることを主目的とした展示施設であり、地方の材を活用し、都心で使用後、移築し里帰りさせる循環型社会モデル。木の魅力を大人から子供まで感じてもらえるよう子供向けコンテンツを盛り込んだり、イベントを開催する等、訪れた方が木の温もりを感じられる無料の施設を創出した。

評価ポイント　CLTのショーケースとして、子どもや来場者が木に触れその魅力を感じることができる空間を実現した。多様な工法による多様な空間は随所に木を感じられる仕掛けを施している。解体移築し、また里帰りさせるという木造建築ならではの都市と地方を結ぶ循環型経済モデルとしてもユニークな取組である。

目 次

受賞作品

建築・空間分野 …… 3

建材・部材分野 …… 14

木製品分野 …… 15

コミュニケーション分野 …… 22

技術・研究分野 …… 25

審査委員会からのメッセージ …… 28

ウッドデザイン賞2020実施概要 …… 30

ライフスタイル ｜ 住宅の木質化・リノベーション（古民家再生含む）　入賞21

蔵の家（京都府）

川上聡建築設計事務所/SATOSHI KAWAKAMI ARCHITECTS（京都府）、フジタケイ建築設計事務所（大阪府）、関西木材工業（株）（大阪府）、（株）林工務店（京都府）

【閲覧先（連絡先）】
https://satoshikawakami.com
https://www.kfarchi.com

概要　京都祇園の酒屋の酒蔵や土蔵を改修した住宅兼陶芸工房。既存の構造を活かしつつ、必要部分のみ新しく補強した。酒蔵では、通し柱と挟み梁による架構を設け、隣接する離れと梁でつなぐことで建物群の構造を補強した。土蔵では出窓空間を新たに付加し、広く明るい内部空間を生み出した。添え木のような改修を意図した計画。

評価ポイント　既存の酒蔵や土蔵といった閉鎖的な空間を木を巧みに使って改修を施し、使い勝手や快適性の向上に寄与している。京町家を保存しながら現代の暮らしにマッチさせる工夫がある。ストーリー性のある木質感溢れる空間は、創作の場としても有効に機能するだろう。

ライフスタイル ｜ 住宅の木質化・リノベーション（古民家再生含む）　入賞22

棚の家（京都府）

川上聡建築設計事務所/SATOSHI KAWAKAMI ARCHITECTS（京都府）、フジタケイ建築設計事務所（大阪府）、（株）林工務店（京都府）

【閲覧先（連絡先）】
https://satoshikawakami.com
https://www.kfarchi.com

概要　住宅の改修計画。既存壁の位置を変えないという初条件のもと、必要な機能や場所を集成材の水平な棚や机、段差で計画し、空間の連続性を生み出した。水平なエレメントは、床スラブに固定されたFB（フラットバー）とそれに溶接した小さな十字を棚材の溝に差し込むことで支持しており、FBの振止めや座屈防止を考慮しながら計画された。

評価ポイント　元からあった建築物の躯体には手を加えずに、垂直のフラットバー（FB）と木の水平部材で空間を構成した独自性の高い取組である。シャープな意匠を持つ棚の連続は、空間の見通しが良くなった、テラスとの繋がりを感じられるようになった、といった効果を生み出している。

ライフスタイル ｜ 住宅の木質化・リノベーション（古民家再生含む）　入賞23

漢方の本陣（滋賀県）

竹内崇浩、（株）松井郁夫建築設計事務所（東京都）、（株）橋本工務店、川端建築計画、（株）夏見工務店

【閲覧先（連絡先）】
http://matsui-ikuo.jp/works/漢方の本陣

概要　本建物は滋賀県木之本宿に建つ北国街道に面した町家である。275年の風雪に耐えてきた架構は痛みが激しく傾いていた。内部は座敷続きの部屋で、暗く寒い状態であった。耐震・温熱改修を施し明るく温かい建物とするとともに、外観は大きく変えることなく、北国街道側の非居住エリアを展示スペースとして町に開放している。

評価ポイント　江戸時代から参勤交代には本陣として使われた薬屋の外観を活かしつつ、耐震と温熱環境向上を目的とした改修だが、古材と新しい国産材の融合が見事である。蔵に残る展示品が並べられた開放スペースと暮らしの空間が、いにしえと現代をつなぐ家屋そのもののようである。

ライフスタイル ｜ 住宅の木質化・リノベーション（古民家再生含む）　入賞24

木籠（愛知県）

（株）アトリエルクス（愛知県）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.atelier-lx.jp

概要　築35年の既存住宅の改修。昼間でも電気をつけないと暗い、部屋の空間が圧迫感があるなどの問題を抱えながら、住み慣れた住宅をなんとか、やすらぎのある空間にリノベーションをしたいという思いからはじまった。木の籠に包まれて柔らかい日差し、そよ風に包まれながら穏やかな生活を実現できる終の住処が完成した。

評価ポイント　住み慣れた空間の記憶を残しつつも、全体を木製ルーバーで覆い木の温もりを感じる新たな暮らし方を提供している。使用されていなかった庭空間を使った、ルーバーに囲まれた半外部空間が趣味や寛ぎを楽しむ中間領域として暮らしに潤いをもたらす。

ライフスタイル ｜ 戸建・注文住宅　入賞17

風光る平家（静岡県）

（株）サン工房（静岡県）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.sankoubou.com/

概要　H字型の配置計画とし、中庭を囲む室内空間は、交通量の多い東側道路や周囲の隣家からの視線を気にすることなく、心静かにくつろげる住まいを造り上げる事ができた。日々の多忙な生活の中にあっても、我が家で過ごす至福の時が心と身体を癒すことに繋がれる空間を実現した。

評価ポイント　中庭を囲む空間の中央にあるリビングは斜め梁によって広さを感じることができ、大きな開口部と相まって庭との一体感をつくりだし、心地よさそうである。効果的に配置された木格子も平屋の外観にメリハリをつけ、洗練された印象がある。

ライフスタイル ｜ 戸建・注文住宅　入賞18

一竿風月の家（静岡県）

（株）サン工房（静岡県）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.sankoubou.com/

概要　一竿風月とは自然の中で悠々自適に過ごすこと。西は静岡県と愛知県の境に位置する多米峠の山々、東は浜名湖、風光明媚な景色に囲まれたこの家は、まさに一竿風月という言葉にふさわしい暮らしを愉しめる住まい。

評価ポイント　リビングの開口部からウッドデッキ、築山のある庭が一体化して、周辺の豊かな自然とともに癒しの空間を生み出している。内装も建具や造り付け家具、床の樹種を統一するなど、木を多用しつつ素軽く見せる細部のこだわりがある。中庭の雑木も季節を感じさせてくれるだろう。

ライフスタイル ｜ 住宅の木質化・リノベーション（古民家再生含む）　入賞19

熊六拾六号　KATAOKA GALAXY（東京都）

鶴田伸介/一級建築士事務所熊工房（東京都）、（株）渡辺健建設事務所（東京都）、（株）中東（石川県）、田口音響研究所（株）（東京都）、NPO法人時ノ寿の森クラブ（静岡県）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.dovelove.tokyo/art/1283/

概要　音楽と自然をこよなく愛するKの為に、森と最高の音に濡れる音場で歓喜する「音楽建築」が生まれた。高台の眺望と森を取り込みまるでスピーカーの中に住まう感覚が新しいイマジネーションを生み出す。「音楽建築」は音楽を中心テーマに住み手の趣向に誂えた至高の音場空間である。※「音楽建築」は登録商標

評価ポイント　音楽に囲まれて森の中で暮らしたいという施主の要望に応えるため、音響と素材、空間を計算しつくしたオリジナリティ溢れる建築である。望んだ音を生み出すために材の選定、調達までこだわり、それ自体が森を守る活動とリンクしている点も物語性がある。

ライフスタイル ｜ 量産型住宅　入賞20

手刻みの規格住宅【弥彦の平屋】（新潟県）

（株）二村建築（新潟県）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.nimurakentiku.co.jp/exhibit_index/modelhouse_y/

概要　規格住宅「弥彦の平屋」は、日本の「木」の文化、職人不足で激減している「大工」の技術を継承しつつ、平屋の暮らしやすさに心地よい温熱環境と自然素材のやさしさをプラス。24坪の平屋に小屋裏をプラスした。間取りは4間（7.272m）×6間（10.908m）のベースプランでいくつものパターンを用意。

評価ポイント　木造平屋建ての規格住宅に小屋裏をプラスすることで安全性や温熱環境向上、フレキシブルな空間利用を提案している。手刻みにこだわり、素材に精通した伝統的な技術の伝承にも寄与している。

ライフスタイル ｜ 戸建・注文住宅　入賞13

森町の家（静岡県）

（有）扇建築工房（静岡県）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.ougi.jp/works/morimachi/

概要　緑豊かな山間の土地に建つ分棟平屋。勾配のある敷地形状を生かし、高さの異なる3つの平屋から構成されている。暮らすのは、農業を営む親夫婦と子育てを終えた子夫婦。仲の良い二世帯で、独立した孫や近所の人も頻繁に訪れる。離れの囲炉裏は地域の憩いの場。地域や環境との関わりを大切にしながら暮らす住まい。

評価ポイント　3棟からなる二世帯住宅で、地元材や焼スギなどを使いながら、リビングや洗面、脱衣室などの共有スペースのある中央棟、囲炉裏のある南棟など、暮らしと交流を豊かにする機能性がよく練られている。庭木の一部に雑木を利用し、利益の一部を山主に還元している点も社会性に富む。

ライフスタイル ｜ 戸建・注文住宅　入賞14

東馬込の家（東京都）

（株）松井郁夫建築設計事務所（東京都）、（有）キューブワン・ハウジング（東京都）

【閲覧先（連絡先）】
http://kigumi.jp/works/6026

概要　個人住宅。地震で倒壊しにくい伝統の「貫」と「足固め」、「フラットベット基礎」を採用した木組の「プロトタイプ」を適正価格で提供している。手刻みの木組の家づくりを続けることで、伝統的な職人の技術が伝承され、自然素材に囲まれた豊かな暮らしを送ることができると考える。

評価ポイント　日本の伝統構法を新たな解釈で現代の暮らしにつなぐ、シンプルで良質な家づくりがよい。伝統的な技を活かしたパッシブエネルギーを活用する家は温熱環境面でも高い性能を確保する。国産材や漆喰壁を用いながら価格を抑えた点も評価したいポイントである。

ライフスタイル ｜ 戸建・注文住宅　入賞15

自給自足で暮らす 田舎の木の家（京都府）

シーエッチ建築工房（兵庫県）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.ch-wood.co.jp/case/stove_satoyama

概要　日本の田舎に建つ、軒の深い木の家。風が抜け、光が入る、昔ながらの日本の家への考え方。パッシブデザインを積極的に取り入れ、五感で感じることができる家づくりにより、大人も子供もののびのびと暮らせる家ができた。大きな窓は風景と共に、人の流れも空気の流れや、季節の色、香りまで取り込んでくれる。

評価ポイント　木組みの伝統工法を使いながら、豊かな周辺環境を活かし共生すべく内と外がつながる空間づくりに工夫がある。木材の特性を活かしたパッシブデザインは無理がなく、軒の深い縁側ははとても心地よさそうである。

ライフスタイル ｜ 戸建・注文住宅　入賞16

幸漆の家・幸然の家（静岡県）

（株）サン工房（静岡県）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.sankoubou.com/

概要　古い街道沿い、来歴のある土地での建替え。間口は南北に6m、奥行きは東西に50mという特徴的な敷地に、ご両親とその息子さん夫婦が暮らす二世帯住宅の計画。代々受け継いできた既存の蔵や住居に使われていた梁や、和瓦、千本格子の障子、箱階段などを再生し、新しい家と融合させた、懐かしさが漂う住まい。

評価ポイント　親世帯の住居空間にはかつての住居で使っていた箱階段などを匠の技で再生・配置し、記憶や時間を感じる空間になっている。2階建ての子世帯の住居空間は木質感を活かしながらモダンな味わいを持つ。敷地特性をうまく活かし、2世帯に適度な距離感をもたらすことに成功している。

ライフスタイル ｜ 宿泊施設（ホテル・旅館）　入賞9

星野リゾート BEB5軽井沢（長野県）

（株）佐々木達郎建築設計事務所（東京都）

FOTOTECA

【閲覧先（連絡先）】
https://hoshinoresorts.com/ja/hotels/beb5karuizawa/

概要　「星野リゾートBEB5軽井沢」は、若い世代をターゲットに国内旅行の市場活性化を狙ったブランドである。旅に対してネガティブな感想を持つ若い世代が気軽に旅に出て楽しさを感じ、もっと旅を好きになるための滞在空間を提供している。軽井沢の豊かな自然を取り込んだ、木の温もりが感じられる林の中の滞在空間である。

評価ポイント　周辺の豊かな自然環境と建築物が一体となった空間を体験して欲しいとの意図のもと、中心部に設けられた中庭とデッキテラス、それを囲むパブリックエリアが開放的で心地よい空間を生み出している。中規模の準耐火木造のホテルとして、地域性を活かした好例である。

ライフスタイル ｜ 公共施設　入賞10

開成町庁舎（神奈川県）

開成町（神奈川県）、（株）松田平田設計（東京都）、大成建設（株）（東京都）、（株）シェルター（山形県）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.town.kaisei.kanagawa.jp/menu/41

概要　開成町は、神奈川県西部にある田園風景や水、緑といった豊かな自然環境に恵まれたまちである。町民の安全と安心を支援する防災拠点であると同時に、この庁舎を自然との共生が感じられる場所としたい、木に包まれた空間としたいとの町の想いを受けて、単純な内装材ではない「木の性能(木造+省エネ)」を利用して、国内初のZEB認証によるゼロエネルギー庁舎を実現した。

評価ポイント　印象的な木格子を配置した吹抜け空間は、来訪者の待合スペースのみならず、イベント空間や休憩スペースにも利用できる、木のもてなし空間となっている。木格子は意匠の面だけでなく建物の省エネルギー対策のための重要な役割も担っており、機能面にも効果をもたらす。

ライフスタイル ｜ 工場・倉庫　入賞11

清光社 埼玉支店（埼玉県）

アリイイリエアーキテクツ（東京都）、（株）清光社（東京都）、（株）KAP（東京都）、シグマ建設（株）（埼玉県）

【閲覧先（連絡先）】
http://www.ariiirie.com/

概要　住宅街と国道17号に挟まれた敷地に建つ、機械部品を扱う専門商社の倉庫兼オフィス。プラットホームに面した、フォークリフトを使って製品の出し入れを行うスペースと、人が棚から部品を取って梱包するスペースの、2種類の高さの異なる倉庫スペースが1階におさめられ、2階住宅街側にオフィスが配置されている。

評価ポイント　自然光を取り入れたいオフィスと高さを必要とする倉庫を両立させるため方杖をうまく活用し、一般流通材の利用も可能にした。オフィス空間から見える木の質感が外部からの光を受けて優しさを醸し出している。

ライフスタイル ｜ 工場・倉庫　入賞12

ガイアフロー静岡蒸溜所（静岡県）

ガイアフローディスティリング（株）（静岡県）、（株）WEST COAST（静岡県）

【閲覧先（連絡先）】
https://shizuoka-distillery.jp

概要　地元の資源を生かした、今までにないウイスキー蒸溜所。林業の盛んな静岡の特徴を生かし、建物の内外装に木材を多用した周囲に溶け込むようなデザイン。発酵槽はすべて木製で、そのうち4基は静岡産のスギ製のもの。年内にさらに増設予定。直火の蒸留機は、燃料に地元の間伐材を使用した世界唯一のものである。

評価ポイント　木桶発酵や熱源の間伐材など、地域の森林資源を活かした独自性ある取組であり、木材活用の新たな可能性が見て取れる。地元に根差した酒造りを訴求するにふさわしい周囲の景観と馴染む建築もよく、静岡産スギのバーカウンターで味わうのもまた楽しい。

ハートフル｜保育園・幼稚園　入賞37

大川保育園（福岡県）

社会福祉法人清力会（福岡県）、（株）twha（東京都）、東建工業（株）（福岡県）

概要　福岡県大川市にある保育園の建替計画。1000坪の広大な敷地に広がる園庭と一体になった保育園。

評価ポイント　園舎と園庭の境界をなくし、汎用材を使い、梁を現しにした広々としたホールと一体となって子どもたちの遊び場を作り出している。ホールを中心として各保育室が放射状に配置され、園庭とつながり散策や移動の自由を確保した。木工の街・大川の地域性に根差した、木の質感と子どもの育みを一体化させた建築である。

【閲覧先（連絡先）】
http://twha.jp/category/works/ookawa

ハートフル｜保育園・幼稚園　入賞38

TOMONi保育園（山口県）

髙橋勝建築設計事務所一級建築士事務所（京都府）、（株）山陽グローバルパートナーズ（山口県）、（株）サンリフォーム（山口県）

概要　TOMONi保育園は地域交流施設を併設する19人規模の小さな企業主導型保育所。広大で素晴らしい水田と里山の景色の中で、風景を取り込み気持ちよく過ごせる保育空間を造っている。

評価ポイント　木の枝が手を広げているような柱と方杖の木架構の構造は、保育スペースを確保する工夫であり、木立の風景もイメージさせる。片流れ屋根の梁材は山への還元を考慮して、105mm角のスギ・ヒノキの国産材を使っている。可動式間仕切りで空間を変え地域活動に使える点もよい。

【閲覧先（連絡先）】
https://tomoni.sgpnet.co.jp/
http://t-masaru.net/tomoni/

ハートフル｜保育園・幼稚園　入賞39

丘の幼稚園（千葉県）

（株）STUDIO YY（東京都）、（株）K&T一級建築士事務所（東京都）、学校法人山口学園（千葉県）、木村建設工業（株）（千葉県）、井上健一構造設計事務所（東京都）、武井設備研究所（埼玉県）

概要　幼稚園の建替計画。緑地に向かって伸びる丘のような屋根を計画し、その上に子供達が遊び学ぶ場を散りばめ、好奇心のままに、感性や社会性を育める園舎としたいと考えた。遊びの場や保育室、ホールは木の仕上げとして、触れて学べる場として計画している。ホールは保護者同士や地域住民との交流の場にもなるように設計した。

評価ポイント　片流れ屋根に配置された遊び場が印象的な外観を持つ幼稚園であり、子どもの遊びを誘発するユニークな提案である。木質感ある屋根下の保育室とホールは緑地に向かって配置され、森の景色と木との触れ合いで優しい空間を生み出している。

【閲覧先（連絡先）】
https://makoto2.makoto-kindergarten.com/

ハートフル｜学校　入賞40

高知学園大学（高知県）

学校法人高知学園（高知県）、（有）艸建築工房（高知県）、（株）岸之上工務店

概要　高知市内中心部の小高い住宅街、「学校法人高知学園」は幼稚園から短大まで一貫教育の地域の学校として昨年創立120周年を迎えた。そうした中、短期大学が近年高度化する「食・医療」分野のさらなる人材輩出のため、大学の設置認可を得て、新学部の研究実習棟（8号館）を整備することとなった。

評価ポイント　外観の列柱にインパクトがあり、外壁の木質感もシャープな、1 時間準耐火基準に適合した大学校舎である。内部の教室や実習室にも木がふんだんに使われ、実習や研究が多い医療系の学生のメンタルサポートに寄与したいという建て主の思いが伝わる建築である。

【閲覧先（連絡先）】
http://www.kochi-gc.ac.jp/index.html

ハートフル｜オフィス・会議施設　入賞33

突板のギャラリー（大阪府）

安多化粧合板（株）（大阪府）、（株）ニンキペン一級建築士事務所（大阪府）、（株）中野工務店（大阪府）

概要　大阪府八尾市に位置する突板製造会社のギャラリーである。日本中、世界中の山々から集められたこだわりの突板を、様々な建築家・デザイナーに供給し続ける工場には日々多くの人が見学に訪れており、彼らにじっくりとそれらをみてもらう機能が求められた。

評価ポイント　既存倉庫との間の中庭をはさんだ、外に開くオープンな突板のギャラリー棟で展示スペースとして新しい試みと言える。製品の良さを際立たせるためのシンプルな表現は、ここを訪れる人にじっくりと製品と向き合う時間を与えてくれるだろう。

【閲覧先（連絡先）】
https://www.ninkipen.jp/works/tsukiita/#etc

ハートフル｜観光・交流施設　入賞34

奈良県コンベンションセンター（奈良県）

奈良県（奈良県）、PFI奈良賑わいと交流拠点（株）（奈良県）、（株）大林組大阪本店一級建築士事務所（大阪府）、（株）梓設計（東京都）、（株）大林組（東京都）

概要　奈良でのMICE・滞在型観光・交流の新たな拠点を整備するプロジェクト。コンベンション施設、物販・飲食店舗、バスターミナル等で構成され、中心に天平広場と名付けた吉野杉を使った大屋根の広場を設けている。各施設は天平文化をモチーフとした奈良らしいデザインで統一した。

評価ポイント　吉野杉集成材と鉄骨のハイブリッド架構の大屋根広場のスケールの大きさと意匠が印象的な施設で、地域材の多様な活用方法を見せてくれる魅力的な空間である。万葉集に代表される天平文化の高貴さの表現と木の質感や表情がうまく融合している。

【閲覧先（連絡先）】
http://www.nara-cc.jp/

ハートフル｜保育園・幼稚園　入賞35

都田幼稚園（神奈川県）

（株）ア・シード建築設計（埼玉県）、学校法人中山学園都田幼稚園（神奈川県）、（有）江尻建築構造設計事務所（東京都）、（株）栄港建設（神奈川県）、テクノウッドワークス（株）（栃木県）、（株）屋久島地杉加工センター（鹿児島県）

概要　「自然の中でたくましく」を教育理念とした自然豊な敷地の幼稚園。老朽化した園舎を周囲の自然に調和する木造平家に建て替えた。屋久島地杉の板材を外壁に屋久島では加工しきれず廃材になっていた太丸太を柱に有効利用し、子どもが敷地の大木と丸太柱に触れ、自然の木が園舎になっていることを感じられる園舎。

評価ポイント　屋久島で加工できず廃棄されていた太い地杉の丸太を大黒柱に使うなど、木の選択に物語性を感じさせる園舎の提案。幼児期を過ごす大切な空間で木に触れ、その来歴を知ることで、木とともに暮らしたいと思うきっかけをつくってくれる。

【閲覧先（連絡先）】
http://www.a-seed.co.jp/

ハートフル｜保育園・幼稚園　入賞36

K.S. Kindergarten Lunch House（千葉県）

S.O.Y.建築環境研究所（東京都）、井上健一構造設計事務所（東京都）、（有）冨祥工務店（茨城県）、（株）コト葉LAB.（東京都）、学校法人湖北白ばら学園（千葉県）

概要　既存幼稚園の「こども園認可」に伴う、給食設備棟（ランチルーム）増築工事。給食をつくる厨房とひとクラス分の子どもたちが食事できるランチルームを備える。

評価ポイント　木そのものの持つ力強さや質感を活かしたいという思いから、流通材を合掌させ基礎と屋根だけの建物にした斬新な試みである。ランチルームという特性ゆえ、通常の教室とはまた異なる特別な時間を、木の温もりに包まれながら過ごすことができる子どもたちは幸せである。

【閲覧先（連絡先）】
https://architizer.com/projects/k-s-kindergarten-lunch-house/

ライフスタイル｜公共施設・教育福祉施設の木質化・リノベーション　入賞29

嘉麻市庁舎（福岡県）

嘉麻市（福岡県）、（株）久米設計（東京都）、（株）淺沼組（大阪府）

概要　嘉麻市は1市3町の合併により2006年に誕生した。合併後は、旧庁舎を利用した「分庁方式」で運用していたが、新庁舎を建設し「本庁方式」を選択することで、地域の活性化を目指した。新庁舎の中央に地域産材を纏った議場のボリュームを据え、「地域のシンボル」・「合併のシンボル」として可視化した。

評価ポイント　中央に浮遊するように存在する木質感溢れる議場、コンクリートとガラスで構成されたファサードの奥に透けて見える木のブラインドなど、様々な木の表情を見せてくれる地域の顔としての建築である。林業再興のメッセージを伝える工夫が細部にわたって施されている。

【閲覧先（連絡先）】
https://www.city.kama.lg.jp

ハートフル｜店舗・商業施設　入賞30

MOUNTAIN HUT（長野県）

一級建築士事務所MIGRANT（長野県）、忠田圭史（長野県）

概要　白馬村の入り口、堀之内に元々あった「スキーヤーの集まる伝説のシェアハウス」が地震で全壊してしまった土地に、もう一度人の集まる場所をつくりたいという思いを受けて有志によるセルフビルドにより完成した、飲食店のできる木造の小さな建物。カフェ、ワークショップ、展示会、ヨガ教室など多目的に利用されている。

評価ポイント　根曲がり材等を活用し、セルフビルドで建てられたハウスは木の豊かな表情そのものを活かし、経年変化を楽しむ地域に根差した空間となっている。伝統技術であるへぎ板を始め、手仕事ならではの良さで木の魅力を引き出し、自然と人が集いたくなる空間に仕上がっている。

【閲覧先（連絡先）】
www.facebook.com/mountainhut.hakuba

ハートフル｜オフィス・会議施設　入賞31

株式会社遠藤建築アトリエ新社屋（北海道）

（株）遠藤建築アトリエ（北海道）、（株）安藤耕作構造計画事務所（東京都）、札幌市立大学大学院デザイン研究科（北海道）

概要　北海道を代表する樹種のエゾマツに焦点を当て、「森から建築をつくる」ことを試みた。在来軸組工法による柱の森と光により操作されたHP shell形状の屋根により木材利用の新しい可能性を拓き、シンプルで美しい木架構を目指した。

評価ポイント　エゾマツの無垢材の美しさを引き出す構造デザインを試みており、ウェイブした屋根が目を引く建築である。外壁の格子と金属パネルの組み合わせは、北海道の四季を映し出すファサードになっている。感性を刺激する意匠が印象的な建物である。

【閲覧先（連絡先）】
https://www.endo-aa.net/

ハートフル｜オフィス・会議施設　入賞32

株式会社ミヨシ産業広島営業所（広島県）

（株）ミヨシ産業（鳥取県）、Hafnium Architects 福山弘（神奈川県）

概要　建材の流通・販売を主たる業務として行うための営業所で、鳥取CLTで製造されるCLTとしては比較的薄く小さいパネルの取り扱いも併せて行うための2棟の連続した建築物。そのため事務所棟、倉庫棟とも材料とその使いかたのショールームとしての役割も担っている。

評価ポイント　薄物CLT による3次元トラス架構を採用した事務所棟、CLT による棚板で構造をつくった倉庫棟と薄物CLT活用の具体的な事例として開発意図が明確である。オフィスや倉庫の意匠性を高めつつ、空間の使いやすさにもつながっている。

【閲覧先（連絡先）】
https://www.miyoshi-san.co.jp/

ライフスタイル｜住宅の木質化・リノベーション（古民家再生含む）　入賞25

森の素形（北海道）

GLA（北海道）

概要　敷地は山麓に位置し、近景には四季折々の表情を見せる森など借景に恵まれていた。この地の記憶を残すかのように、住居の輪郭は壁というよりもむしろ、大きな幹のような柱を崖の木々と呼応させるように立ち並べていった。住み手はその大木群を縫うように生活をし、木陰のような場を気分に応じ選んでは佇んでいる。

評価ポイント　見る者の目を引く、幹をイメージさせる木の柱で構成された建物は、周辺の環境と調和している。内部は多様な居場所をつくり出しており、外と連続する空間や小さな和室など季節や気分で使い分けられるだろう。木材と異素材の組み合わせの妙もよい。

【閲覧先（連絡先）】
https://www.ghent-label-archi.com/mori-no-sokei

ライフスタイル｜店舗・商業施設・宿泊施設の木質化・リノベーション　入賞26

CONTEXTED（コンテクステッド）（大阪府）

合同会社REVearth（神奈川県）、Office for Environment Architecture（大阪府）、Tokyo Lighting Design 合同会社（東京都）、（株）キドビル工務店（大阪府）、関西木材工業（株）（大阪府）土井住宅産業（株）（大阪府）

概要　永らく空き家となっていた築100年の長屋をリノベーションし、3つの異なるコンセプトをもつ一棟貸しの宿泊施設として再生。長屋のある大阪らしい下町の風景の中で、暮らすように過ごすことができる。文化やデザインが好きな方にご利用いただくため、一つ一つに異なる趣向を凝らしたデザイン性の高い空間に仕上げている。

評価ポイント　長屋をリノベーションした3棟それぞれに「隠れ家」「折り紙」「茶室」といったテーマがあり、日本の木の文化を活かし、うまくデザインされた空間である。長屋の面影を残しつつ、洗練された内部空間はインバウンドにも受けそうだ。庭の設えもユニークでインパクトがある。

【閲覧先（連絡先）】
https://contexted.osaka.jp/

ライフスタイル｜店舗・商業施設・宿泊施設の木質化・リノベーション　入賞27

NO WAVE（兵庫県）

丸山寛文建築設計事務所（大阪府）

概要　西宮市の山間にある温室をリノベーションした木工家具作家の工房と展示室。自然の木々に囲まれ、木工家具を創造し、製作を行う場として温室を利用した。温室のガラスを通して、創作活動を展示するかのように、外部と関係をもつ工房となっている。

評価ポイント　温室をリノベーションした木工家具工房で、創作の様子が外部から見えるショーケース的な空間でもある。工房上部に設けられた展示空間は周囲の緑を借景としたシンプルで美しい場所となっており、ここで生まれる木工家具の魅力を伝えてくれる。

【閲覧先（連絡先）】
https://nowave.jp/

ライフスタイル｜オフィスの木質化・リノベーション　入賞28

CODO（静岡県）

鈴与（株）（静岡県）、（株）ロフトワーク（東京都）、（株）飛騨の森でクマは踊る（岐阜県）、（株）後藤周平建築設計事務所（静岡県）

概要　多種多様な国産材を活用し、企業の本社最上階にある社内イベントで使われていた講堂を、仕事、会議、食事、イベントなど、様々な使い方に対応する空間へ更新した。ワンルームで天井が高い既存の空間を生かし、木の段床をずらしながら積み上げ、立体的かつ回遊性のある空間で多様な用途に対応することを試みた。

評価ポイント　小径木や規格外の木を利用し、複数の板幅や樹種を使うことで持続的な森林資源の活用とオフィス空間の未来像を同時に表現することに成功している。利用者の視野内に立体性を持たせることで動きが生まれ、洗練された空間ながら活動的なイメージを感じさせる。

【閲覧先（連絡先）】
https://www.suzuyo.co.jp/

ハートフル｜戸建・注文住宅　入賞45

五平柱の住宅（東京都）

アトリエコ（東京都）、（株）多田脩二構造設計事務所（東京都）、（株）相川スリーエフ（千葉県）、（株）山二（長野県）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.atorieco.info/gohira

概要　施主は子育てを終えた夫婦で近隣に住む孫を預かる事も多い。1階の大きな下屋の矩勾配屋根と方杖が明快な幾何学を形成し、2階と緩やかに場を繋ぐ。壁の少ない空間は五平と呼ばれる扁平の柱が踏ん張り成立している。趣味に没頭する夫婦の個の時間を住まいの連なりの一部とすることで、緩やかな関係を築いていけたらと願う。

評価ポイント　南北に細長い3面接道という土地条件のなかで、軒先を低く抑えるため、5本の木の五平柱が下家を支えており、内部には広い空間を生み出した。木の枝が手を広げたような柱は空間の高さを感じさせるとともに、木の意匠が目に飛び込んでくる。気持ちのよい空間である。

ハートフル｜戸建・注文住宅　入賞46

PHASE DANCE（伊豆高原の別荘）（静岡県）

（株）廣部剛司建築研究所（神奈川県）、TS構造設計、（株）シェルター、大同工業（株）

【閲覧先（連絡先）】
http://www.hirobe.net

概要　週末住宅。一本の樹木を中心点として、それぞれの場に必要な空間ボリュームとなるよう角度をフリーにした構造である。RCに木造の架構を載せるにあたって、その平面形を引き継ぎながら三角形構面の頂点をパラメトリックに操作、屋根形状を連続的に変化させた。

評価ポイント　傾斜地にある1本の樹木を取り囲むように建てられた住宅で、木でつくられた内部の天井と棚の意匠が美しい。折れ曲がりの面や角度は均一ではなく、そのため梁や垂木も複雑に変化しており、そのリズム感が五感を刺激し、週末に使う異空間として良質だ。

ハートフル｜戸建・注文住宅　入賞47

Sou（奈良県）

atelier thu（兵庫県）、（株）山本安工務店（大阪府）

【閲覧先（連絡先）】
https://thu-architect.com/

概要　計画地は沿線の北側、大規模な開発を逃れた小高い丘の中腹にあり、急な坂道を北に上る。敷地は南側の大半が傾斜地であり、北側にわずかに残された平地に小さな平屋の古家が建ち、敷地の北側には小さな緑地が残っていた。造成することもできず取り残されたような、この場所性を生かした計画ができないものかと考えた。

評価ポイント　傾斜する敷地に沿って床レベルに高低差をつけることで建物の高さを抑えることに成功している。風が通り抜ける心地よい木質の空間は外部の地形とつながっているようで、ウッドデッキの開放感も気持ちよさそうな家である。

ハートフル｜量産型住宅　入賞48

佐藤邸に代表されるコンセプト住宅「讃岐舎（さぬきのいえ）」一連の作品（香川県）

（株）菅組（香川県）、讃岐の舎づくり倶楽部（香川県）

【閲覧先（連絡先）】
http://www.sanuki-ie.com

概要　田園風景に残る「越屋根」のある小屋。「讃岐舎」はその伝統的建築要素を現代に再生し、地元の木を使用することで香川の風土や気候に調和した家づくりをめざした。柱や梁の構造体を見せることで構造美を表し、調湿機能、耐久性も向上。独自のルールを設ける事で、子育て世代にも建てられるリーズナブルな価格帯を実現した。

評価ポイント　近くの山の木で家をつくる、をコンセプトとし、地域の伝統的な建築要素を取り入れつつ、汎用性を持たせた住宅モデルの提案である。象徴的な越屋根に漆喰、焼スギ、和紙を始め、地元の自然素材を多く使いながら、4mグリッドの構造ルールを設けてコストも低減してい

ハートフル｜病院・福祉施設　入賞41

千里リハビリテーション病院 アネックス棟（大阪府）

住友林業（株）（東京都）、医療法人社団和風会千里リハビリテーション病院（大阪府）、（株）サムライ（東京都）、（株）共同建築設計事務所（東京都）

【閲覧先（連絡先）】
https://sfc.jp/mocca/
https://www.senri-rehab.jp/

概要　開院10年目にあたり脳卒中専門病棟増築計画をクリエイティブディレクター佐藤可士和氏とのコラボレーションで手掛けた。コンセプトの「リハビリテーション・リゾート」をさらに推し進め、患者の方々が少しでもリラックスして自然の力を感じながらリハビリに取り組んでいただけるよう、内外装とも木を最大限に活用した。

評価ポイント　比較的、長期間の療養滞在が見込まれる患者のために、内外装からデッキまで木材を多用し心身の安定と癒し効果を目指したハートフルな空間である。音楽や園芸用の専用空間もあり、リゾートの名称にふさわしい、新たな医療と木材の関係構築を試みている。

ハートフル｜病院・福祉施設　入賞42

ひらざわ内科ハートクリニック（福井県）

伊藤瑞貴建築設計事務所（福井県）、ひらざわ内科ハートクリニック（福井県）、サカイ建設不動産（株）

【閲覧先（連絡先）】
https://hirazawa-heart-clinic.jp

概要　生活習慣病の予防に重点をおいた循環器系クリニックの計画。セミナーやワークショップ等を開催し、まちのヘルスリテラシーを高める、まちの健康を創出するクリニックを目指す。病気になってから通うクリニックではなく、元気な時も立ち寄りたくなる「まちとつながる、大きな下屋のあるクリニック」を考えた。

評価ポイント　従来のクリニックの概念を一歩進め、街にひらき交流する、健康リテラシー習得のための拠点として、ウォーキングやアクティビティに使える環境を整えている。多目的に使えるルームは適度な木質感と相まって、植生や周辺環境と調和した、集いたくなる空間である。

ハートフル｜病院・福祉施設　入賞43

南風原の老人福祉施設（沖縄県）

（株）山口瞬太郎建築設計事務所（沖縄県）、タムタムデザイン一級建築士事務所（福岡県）、社会福祉法人千尋会（沖縄県）、（株）大興建設（沖縄県）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.chihirokai.or.jp/

概要　老人福祉施設の新築移転計画。敷地の豊かな自然を最大限残しながら旧施設の閉鎖的な印象から明るく開放的な施設にすることが求められた。バルコニーの木ルーバーは、車いすの方や寝たきりの方も景色が眺められる形状としつつ、沖縄の日射や台風から守る装置を兼ねる。あえて無塗装で経年変化を楽しめるようにした。

評価ポイント　時間を経ることを価値と捉え、ファサードに用いた木ルーバーも経年変化を前提とした建築として意味がある。木の色が抜けてくることで、豊かな自然景観に馴染んでいく。内部では木を多用した空間として食堂や足湯、テラスなどが優しさに配慮したデザインになっている。

ハートフル｜公共施設　入賞44

金閣原谷会館（京都府）

原谷地域連絡協議会、STUDIO RAKKORA ARCHITECTS（京都府）、（株）椎口工務店

【閲覧先（連絡先）】
https://studiorakkora.com/

概要　京都市北区原谷地域の公民館。原谷に公民館を建てたいという住民の強い想いから、10年以上の歳月を経て、住民の寄付金や援助金などにより実現に至った。地域の集会や、投票所、お祭りの休憩所に使われる他、地域住民や近隣の学生へ時間貸しすることができ、レンタルスペースとしても利用されている。

評価ポイント　特徴あるスギ板の外壁はシンプルで柔らかさを感じさせる。内部空間も勾配によってつくられる大空間に、木材をふんだんに活用しており、キッチンカウンターをはさんで2つの空間が存在しており、使い勝手がよい。地域交流の拠点として、気軽に集える場所になった。

ハートフル｜オフィスの木質化・リノベーション　入賞53

TAC.Tの森（神奈川県）

大成建設（株）技術センター（神奈川県）、大成建設（株）一級建築士事務所（東京都）、大成建設（株）横浜支店（神奈川県）

【閲覧先（連絡先）】
http://www.taisei.co.jp/

概要　TAC.Tの森は、大成建設技術センターA棟に設けたコミュニケーション空間である。人・自然・技術を木材にて結びつけ、人々をもてなす癒しの空間になるよう改修した。様々な木質空間により、ここを訪れた人々やここで働く人々への「Wellness（健康増進）」と、人々が自由に働く場所を選べる「ABW」を実現することを目標に計画した。

評価ポイント　風が通り、植栽と木材に囲まれたテラスは、研究所内の憩いの場として最適である。樹木をモチーフとしたカフェや木製ベンチがある多目的のサロンなど、フレキシブルな働き方を推進するにふさわしい快適でクリエイティビティ溢れる空間に仕上がっている。

ハートフル｜公共施設・教育福祉施設の木質化・リノベーション　入賞54

高畠町屋内遊戯場もっくる（山形県）

パワープレイス（株）（東京都）、（有）テラダデザイン一級建築士事務所（東京都）、山形県高畠町（山形県）、羽山総合建設（株）（山形県）

【閲覧先（連絡先）】
http://www.powerplace.co.jp/works/mokkuru/

概要　高畠町屋内遊戯場「もっくる」は廃校になった中学校の体育館を改修した屋内遊戯施設。木育を基本とした子育て支援を目的として、暑い夏や雪深い冬など四季を通じて親子で遊べる施設である。また、単なる遊戯施設ではなく子育てを中心とした地域の連携が生まれるように設計、プロセスを通じて地域の方々と共に創った。

評価ポイント　地元の山から伐採したスギを製材・加工し、内装や家具、おもちゃまで徹底的に活用した子育て支援空間であるが、作り込み過ぎない、多様な遊びを誘発する構成に好感が持てる。木育ワークショップを通じ、親子や多世代で木に親しむ機会を創出してくれる。

ハートフル｜その他　入賞55

JRA馬事公苑 木づかいプロジェクト（東京都）

日本中央競馬会（東京都）、（株）山下設計（東京都）、大成建設（株）（東京都）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.yamashitasekkei.co.jp/

概要　東京2020オリンピック・パラリンピック馬術競技会場の全面整備における都心の貴重な緑の保存・再生という課題に対し、伐採木の利活用や緑の育成を通じて馬事公苑の魅力を最大限に引き出すためのプロジェクト。伐採木の活用に加え、大径木移植を含む健全な緑の育成、新技術の活用、周辺住民・教育機関と公苑を繋ぐ取組みなど幅広い活動を含む。

評価ポイント　活動のシンボルとしてのツリーハウス、森の空中散策路、オペレーションセンターやオフィスの内外装まで、伐採木の活用のみならず、そこで木に触れる経験、多様な技術活用、人材育成など多面的な木材利用の可能性を導いた。木と緑の魅力を都市で味わえる貴重な場所である。

ソーシャル｜店舗・商業施設　入賞56

mother's+（マザーズプラス）（北海道）

（有）北海道種鶏農場（北海道）、（株）竹中工務店（北海道）、藤寿産業（株）（福島県）、物林（株）（東京都）、協同組合オホーツクウッドピア（北海道）

【閲覧先（連絡先）】
http://www.mothers-egg.com/

概要　「アニマルウェルフェア（動物福祉）」の思想により鶏の放牧を行うパイロットファームの施設で、農村での自然体験や食文化を楽しむ新しい余暇の過ごし方「グリーンツーリズム」も取り込み、飼育から採卵、加工販売、食事サービスまで楽しめる種鶏業の6次産業化を実現する高付加価値化、ブランド化を進める木造建築である。

評価ポイント　地域の畜産と観光を一体化させるグリーンツーリズムというコンセプトと、木造建築が見事にマッチした質の高い、素晴らしい作品である。環境、動物、人間社会の調和というテーマを体現した道産材を使った木質空間は、ここでの体験や飲食に高い付加価値を与えている。

ハートフル｜店舗・商業施設・宿泊施設の木質化・リノベーション　入賞49

九段下の整体（東京都）

川上聡建築設計事務所/SATOSHI KAWAKAMI ARCHITECTS（京都府）、コネクト（株）（東京都）

【閲覧先（連絡先）】
https://satoshikawakami.com

概要　東京千代田区九段下の整体サロンの内装改修計画。人の骨格や骨盤そのものを調整するという店舗のコンセプトに基づき、スギ材の架構をこの店の「骨格」として挿入し、その架構が、水平棚、間接照明、視線を遮る格子などの設えを支える空間構成とした。つくり方を自然体のまま現しとし、木架構そのものに触れられる設計とした。

評価ポイント　木架構を整体サロンという業種になぞらえ、店舗の骨格として見せるというユニークなデザインである。木架構が支える棚板や格子が奥行を与えながら視認性も高め、木の香りや温もりが施術される人の心身を癒してくれる空間になった。

ハートフル｜店舗・商業施設・宿泊施設の木質化・リノベーション　入賞50

富士屋ホテル RE-BORN（神奈川県）

（株）乃村工藝社（東京都）、（株）エフラボ（石川県）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.fujiyahotel.jp/reborn/index.html

概要　富士屋ホテルにおいて耐震補強に伴う大改修工事が行われた。ホテルで長年使われてきた家具のほとんどを補修し、改めて各所に配置するようにFFE設計を進めた。その補修家具を再プロットする設計行為と補修された家具自体が、品質の良い国産木製家具の良さをアピールする事に繋がると考えている。

評価ポイント　明治初期の建設以来、140年を超える歴史を持つホテルの大改修にあたって良質な材で制作された家具を補修、再設置した。木の持つ時間的な価値や魅力を宿泊客に感じさせてくれる取組と言える。世界中から賓客を迎えたであろう、感性に訴える客室や家具が見事である。

ハートフル｜店舗・商業施設・宿泊施設の木質化・リノベーション　入賞51

YOSEIDO 銀座店（東京都）

（株）養生堂企画（東京都）、（株）ベネフィットライン（東京都）、北海道池田町役場（北海道）、一般社団法人白樺プロジェクト（北海道）、（株）森未来（東京都）

【閲覧先（連絡先）】
https://yoseidojp.com

概要　北欧の白樺樹液から作られたスキンケアブランド「KOIVE」の店舗を、北海道池田町のシラカバの内装で飾った。元々パルプ材としての利用が主だったシラカバを内装材・家具材として活用し、また、内装として利用した後もノベルティとして再利用することでサステイナブルなシラカバの利用を実現している。

評価ポイント　商品テーマと店舗デザインを白樺で統一し、感性をくすぐる内装へと仕上げた。消費者へのわかりやすい文脈がよい。未利用であったシラカバを丸太や食器等へ使いサステイナブルな素材利用を訴えかけている。北海道に多く自生するシラカバの新たな活用モデルとして評価できる。

ハートフル｜店舗・商業施設・宿泊施設の木質化・リノベーション　入賞52

THE HIRAMATSU 京都（京都府）

NTT都市開発（株）（東京都）、（株）日建設計大阪オフィス（大阪府）、（株）大林組大阪本店（大阪府）、中村外二工務店（京都府）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.hiramatsuhotels.com/kyoto/

概要　京都の歴史と文化が今も息づく祇園祭の山鉾町のひとつ、役行者町の中心に建つ、明治32年築の京町家を施設の一部として保存利用したホテル計画。京町家の歴史的価値や特徴を活かすのに至適な用途を模索し、既存建屋から木材を生捕して活用。地域が長年築いてきた歴史と文化の継承、街の活性化に貢献することを目指した。

評価ポイント　1階の共用部は京町家らしさを残す格子や障子、小屋組みなどが美しく、機能的に用いられている。客室は木材と紙や漆喰などの自然素材に囲まれ、客室に面した坪庭は心の安らぎを演出してくれるだろう。日本文化を感じる、木のおもてなしに満ちた空間に仕上がっている。

ソーシャル｜オフィス・会議施設　入賞61

アイダ設計プレカット事業部茨城工場（茨城県）

（株）アイダ設計（埼玉県）、エムアールスタジオ（株）（東京都）、（株）ホルツストラー級建築士事務所（東京都）、（株）川田工業（東京都）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.aidagroup.co.jp/p/precut

概要　木材プレカット工場の計画である。プレカットの品質の高さと木造建築の先進性を顧客に伝えるべく、全ての生産工程を間近で見られる約100mの浮遊するガラス張りの通路を計画し、事務棟は「羽柄材」を使ったトラスによる大空間や、柱の端材を利用したデザインウォール等と共に「見せる工場」としてデザインした。

評価ポイント　木材の加工プロセスそのものを建築化する、をコンセプトに工場見学のラインを設けるとともに構造体の柱や壁なども木材現しにして、施設全体がプレカットのショーケースとなった。来訪者の関心を引いてくれる、木材利用を促進するコミュニケーションの場と言える。

ソーシャル｜店舗・商業施設　入賞57

ひもの山安 ターンパイク店（神奈川県）

山安（神奈川県）、MORIYA AND PARTNERS（東京都）、松浦建設

【閲覧先（連絡先）】
http://himono.org/shop/shop-turnpike.html

概要　小田原ひもの老舗の新店舗である。ひものの物販店舗に小さな食堂が併設している。事業主は以前からこの地域で干物の製造から販売までを行なってきたが、近年、小田原漁港に多くの観光客が訪れるようになってきたことを受け、人の流れを引き込むことのできる求心力と寛容さを併せ持った店舗を実現できないかと考えた。

評価ポイント　さながらミュージアムのような外観を彷彿とさせるインパクトある木の列柱は、訪れる人々の目を引く。漁港の特産物を扱う業種として、ロードサイドにこうした特徴ある建物を設けて、地域に開いた店舗をつくりたいという思いの可視化でもある。

ソーシャル｜オフィス・会議施設　入賞62

熊本東京海上日動ビルディング（熊本県）

東京海上日動火災保険（株）（東京都）、（株）三菱地所設計（東京都）、大成建設（株）（東京都）、（株）秀拓（熊本県）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.mj-sekkei.com/

概要　熊本の中心部に建つ、地下1階、地上7階建てのオフィスビル。県産材の木材を、エントランス空間に印象的に使用するだけでなく、基準階の耐震間柱や窓回りの天井など執務空間にも木材を多用している。

評価ポイント　県産材を建物の外装、内装、家具などに多用しながら、ワーキングスペースには窓際に木の柱が並び、時代に合わせたフリーアクセスが可能なフレキシブルな構成になっている。木視率を考慮した木材の使い分けなど、働く場、訪れる場で効果的なアピールを展開している。

ソーシャル｜オフィス・会議施設　入賞58

（株）イトイグループHD CLT工法による新社屋（北海道）

（株）イトイグループホールディングス（北海道）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.itoi-good.co.jp/

概要　北海道士別市朝日町にて、「地方創生企業」株式会社イトイグループHDがグループ各社の社屋として使用している。躯体に使用したCLTは、全て北海道産のトドマツから製作した。施工は工法を普及するため、地元大工と自社とでチームを組んで行った。

評価ポイント　木材の質感や風合いを活かし、台形のパネルのCLTを現しにしたオフィスであり、ショーケース的な役割も担っている。流木チップを熱源にしたバイオマスボイラーの採用や豪雪地帯における温熱環境の実証実験など、地域の資源と地理を最大限に活用したオフィスモデルである。

ソーシャル｜オフィス・会議施設　入賞63

MARUHON FUKUOKA（福岡県）

（株）マルホン（静岡県）、香取建築デザイン事務所（東京都）、（株）KAP（東京都）、（株）フィールドフォー・デザインオフィス（東京都）、黒木建設（株）（佐賀県）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.mokuzai.com/Showroom/sr-fukuoka

概要　木質建材を扱うマルホンが、福岡に建設したオフィス兼ショールーム。30坪程の敷地に、ワークスペース、400点余りの商品ストック、プレゼンスペースがあり、構造・設備・インテリア・家具が各々の機能を担いながら効率良くコンパクトな空間を構築し、前例の少ない「FSC®プロジェクト全体認証」を取得した。

評価ポイント　木材に包み込まれるような空間を意図し、製品と空間が一体となって身体全体で木の魅力を感じることができる。落ち着いた空間の中で、木に触れ木を選ぶための「コミュニケーションツール」としての建築である。外観もエイジングを考慮し地域に溶け込む。

ソーシャル｜オフィス・会議施設　入賞59

丸和林業株式会社 奈半利事業所（高知県）

丸和林業グループ 丸和林業（株）（高知県）、聖建築研究所（高知県）、建築工房望（有）（高知県）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.facebook.com/hijiri.architecture.lab/

概要　CLTパネル工法による約24坪の小規模オフィス。森林資源を総合的に扱う会社における、木材チップ製造工場の事務所である。木に囲まれる安心感と開放感を両立させながら、単純な組立工法の中に職人の手仕事の余白を残し、両者の共存の道を模索した。木の文化の継承を目指すという企業理念を体現する建築を目指した。

評価ポイント　CLTの汎用的工法と伝統的な継手加工による仕事を融合させ、地域材活用のさまざまな可能性を表現した小規模オフィスである。CLTを現しとした壁や天井、スギ板張りの壁など、コンパクトであっても、木を活かしたオフィスの良さを感じることができる。

ソーシャル｜オフィス・会議施設　入賞64

大成建設技術センター 風のラボ（神奈川県）

大成建設（株）（東京都）、大成建設（株）一級建築士事務所（東京都）、大成建設（株）横浜支店（神奈川県）

【閲覧先（連絡先）】
http://www.taisei-design.jp/de/works/2019/kazenolabo.html

概要　大成建設技術センター内の風洞実験施設。大型風洞実験装置と計測室、見学スペースを内包する長さ約42m×幅約9.5m×高さ約9mの大空間をCLT単独の構造で実現。研究者や見学者が木の温もりや香り、柔かな自然光を感じられる快適な空間とした。

評価ポイント　国内最大級の12mスパンが可能なCLTの構造システムを開発し、大規模な空間での利用を実証した社会提案性あるプロジェクトである。構造材を現しにしており、実験装置と木材のコントラストが美しく、木の香りや温もりを感じる、次世代型の技術センターの趣きがある。

ソーシャル｜オフィス・会議施設　入賞60

飯能商工会議所（埼玉県）

飯能商工会議所（埼玉県）、（有）野沢正光建築工房（東京都）、（株）ホルツストラ（東京都）、コイズミスタジオ（東京都）、細田建設（株）（埼玉県）、西川地区木材業組合（埼玉県）

【閲覧先（連絡先）】
http://noz-bw.com/archives/works/hnn-2

概要　飯能商工会議所は設計監理者選定公募型プロポーザルにより、地域資源である西川材の利用促進を図り、CLTを用いた先進的モデルとなるよう求められた。また市の中心市街地に建設される建物として、地域商工業振興の拠点、観光振興の拠点、西川材振興の拠点、交流とコミュニティの拠点としての機能を満たすよう計画された。

評価ポイント　西川材のスギやヒノキ材とCLT パネルを適材適所に組み合わせ、多様な木質構造技術を使ったショールーム的役割を担う施設である。通りから見える組子格子の意匠は美しく、この地域の特徴である半公共の「庭」も敷地内に現代風に再現されている。

ソーシャル｜公共施設　入賞69

秋田ノーザンゲートスクエア（秋田県）

東日本旅客鉄道（株）秋田支社（秋田県）、（株）JR東日本建築設計（東京都）、（株）環境デザイン研究所（東京都）、（株）ライフデザイン建築研究所（秋田県）、（株）山田憲明構造設計事務所（東京都）、第一建設工業株式会社（新潟県）

【閲覧先（連絡先）】
http://www.jred.co.jp/

概要　本施設は、秋田駅周辺のJR用地活用により、地方創生・コンパクトシティを推進する「ノーザンステーションゲート秋田」の一環として、秋田駅東側の敷地に計画された、バスケットボールの練習専用の体育館と、保育所、事務所、店舗（予定）を併設した複合施設。

評価ポイント　アリーナ部では県産の一般スギ材を使い、鉄骨造とのハイブリッド構造で複合トラス梁による大空間となっており、その様子は秋田新幹線内からも見ることができる。地域の開かれたスポーツ施設であるとともに、エリアー体の木材利用の一環として高い発信力を持つ施設である。

ソーシャル｜観光・交流施設設　入賞65

アイエムタクシーラウンジ（新潟県）

アイエムタクシー（株）（新潟県）、（株）イチバンセン一級建築士事務所（東京都）、（株）安藤耕作構造計画事務所（東京都）、久保田建設（株）（新潟県）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.ichibansen.com/im-taxi-lounge

概要　北陸新幹線上越妙高駅前に計画された、観光案内の機能を持つタクシー待合所。地域における積極的な木材活用を目指し、構造・仕上げ・サッシ・家具・外構の全てに新潟県産材を用いた。また、県産スギ材で三翼型の新たな構造形式を開発することにより、豪雪地帯の積雪荷重に対応しつつ開放的で快適な待合空間を実現させた。

評価ポイント　山村地域ではタクシーは主要交通機関のひとつであり、地域のコミュニケーションの場としても、木材を使った空間づくりに取り組んだ意義は大きい。耐雪に寄与する三翼の構造は建物のアイデンティティーを表出するシンボル的な意匠でもある。

ソーシャル｜公共施設　入賞70

長門市本庁舎（山口県）

長門市（山口県）、東畑建築事務所・藤田建築設計事務所・M.DESIGN ASSOCIATES一級建築士事務所設計共同企業体（大阪府）、熊谷組・安藤建設特定建設工事共同企業体

【閲覧先（連絡先）】
https://www.city.nagato.yamaguchi.jp/soshiki/2/2136.html

概要　国内最大規模となる7000m³超、5階建て2時間耐火の木造庁舎である。木+RCの混構造（免震構造）による合理的な木造空間や適材適所の地域産材利用などにより、今後増えることが予想される地域産材による公共建築の木造化を先導する「積層型大規模木造のモデルプロジェクト」となることを目指した。

評価ポイント　山村、林業振興を象徴する先進的な木造庁舎であり、森林サステナビリティを目指す地域のシンボルとしても位置付けられるものだ。構造部材に加え、床、天井ルーバー、サインやベンチまで見て触れられる、多様なスペースを木質化し、木の温もりを体感できる。

ソーシャル｜学校　入賞66

奈良の木を使用した仮設体育館（奈良高校）（奈良県）

大和ハウス工業（株）（大阪府）、ナスカー級建築士事務所（東京都）、東京大学稲山正弘（東京都）、（株）坂田涼太郎構造設計事務所（東京都）、早稲田大学古谷誠章研究室+東京大学稲山正弘研究室（東京都）

【閲覧先（連絡先）】
http://www.daiwahouse.jp/

概要　急遽、高等学校で体育の授業や部活動（バスケットボール、バレーボール、バトミントン等）で使用するための体育館が必要となり、地元県産材のスギを利用したシザーストラス構造を採用。「木の優しさ」や「木の香り」を感じながらのびのびと汗を流している。

評価ポイント　県産スギを使った無柱の大スパンが可能になるシザーストラス構造をボルトオン接合し、最大9メートルの高さを確保した木に包まれた大空間を生み出している。移設時の解体や再利用を考慮した架構構成や接合を採用しており、この分野での新たな木材利用の展開が期待される。

ソーシャル｜公共施設　入賞71

道の駅足柄・金太郎のふるさと（神奈川県）

南足柄市（神奈川県）、（株）計画・環境建築（東京都）、（株）岩田幸司設計事務所（神奈川県）、（株）下田組

【閲覧先（連絡先）】
https://www.michinoeki-ashigara.com/

概要　神奈川県南足柄市及び地域の飲食・物販・情報発信機能を備えた道の駅。地元住民の利用に加え、矢倉岳の登山客や、南足柄市と箱根町を結ぶ県道731号（矢倉沢仙石原）の開通に伴う観光客の立ち寄り客が見込まれる。交流施設では常時は飲食の客席として利用されるが、イベント時は会場としての利用も可能。

評価ポイント　多目的施設の交流コーナーは、周辺の山並みををイメージした寄棟屋根であり、この施設の象徴的な意匠となり、来訪者をもてなす。飲食や物販用の空間にもふんだんに木を使い、庇の木格子からは外光が注ぐ。素朴ながらも力強さを兼ね備えた、使い勝手のよい施設である。

ソーシャル｜学校　入賞67

流通経済大学龍ケ崎キャンパス佐伯記念武道館（茨城県）

清水建設（株）（東京都）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.rku.ac.jp/campuslife/campus/ryu/

概要　記念武道館としてふさわしい武道の精神と和の心を表現することを目指した。構造体は木造の屋根梁をシンプルなリズムで繰り返すことで力の流れを明快に表現し、内装はヒノキ、アカマツ、スギなどの木質系の素材を適した場所に積極的に用いコンクリート打放の躯体やガラスとの組み合わせで新しい和の空間の装いを醸し出している。

評価ポイント　1階に柔道場3面、2階に剣道場3面を要する大きな無柱空間という条件と武道と和の心というテーマが、木の持つ自然性や重厚感とうまくマッチしている。特に外観を引き締める木梁が特徴的で、遠目からも奥行と力強さを印象付けている。

ソーシャル｜公共施設　入賞72

鳥取ユニバーサルスポーツセンター ノバリア（鳥取県）

（株）プライム建築都市研究所（東京都）、一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会（鳥取県）、鳥取県（鳥取県）、日本財団（東京都）、（株）KAP（東京都）、（株）懸樋工務店（鳥取県）

【閲覧先（連絡先）】
https://ts-sawayaka.jp/

概要　鳥取県鳥取市に計画した小規模な木造の体育施設。敷地は県立の布勢総合運動公園内の一角で、バスケットボール半面程度のスポーツ広場、トレーニングルーム、マルチルームで構成され、障がい者のスポーツ体験やレクリエーション等の実施、県内各地域で障がい者のスポーツ指導をする人材の育成を目的とした施設。

評価ポイント　CLT板が天井に交差しながら浮遊しているような独自の意匠をもたらす架構は、スポーツ施設という建築のなかに軽やかさやカジュアルさを演出している。小規模施設ならではの気軽さや使いやすさを訴求するためにうまくCLTの特徴を活かした例と言える。

ソーシャル｜公共施設　入賞68

姫の沢公園ビジターセンター（静岡県）

熱海市（静岡県）、（株）時設計（東京都）、（株）ハシゴタカ建築設計事務所（東京都）、（株）石井工務店（静岡県）、（株）中東（石川県）

【閲覧先（連絡先）】
https://www.seibu-la.co.jp/himenosawa/facility/vc.html

概要　熱海市北西の緑豊かな山間部、108haの広大な自然を利用した都市公園「姫の沢公園」は公募により民間の指定管理者に移行した。移行に合わせ老朽化した管理事務所を廃止し、公園来場者のための情報発信やイベントのための新たな拠点施設、また熱海市の「山の観光」の新たな起点として本ビジターセンターが整備された。

評価ポイント　森のパビリオンというテーマにふさわしく、樹状の組み柱と湾曲した梁がランドマークになっている施設で、外観から来訪者の好奇心をそそる。吹抜けをめぐる子ども用のネット遊具などもあり、木質感溢れる空間で家族で楽しむことができる。

ソーシャル｜公共施設・教育福祉施設の木質化・リノベーション　入賞85

垂井町役場（岐阜県）

（株）梓設計（東京都）、垂井町（岐阜県）

概要　岐阜県垂井町の老朽化に伴う役場再生計画。既存の商業施設をコンバージョンにより庁舎へと再生している。鉄筋コンクリート造ではあるが町民利用エリアを中心に内装材に木を使用し温もりある空間を構築している。

評価ポイント　空間の最大の特徴である、採光や換気を促すための4か所の吹抜け空間の内装に町内の山から切り出した木を使い、意匠的にも機能的にもインパクトある空間を生み出した。トップライトから入る外光が下部の交流スペースを照らし、居心地のよさを増幅する。

【閲覧先（連絡先）】
http://www.town.tarui.lg.jp/

ソーシャル｜公共施設・教育福祉施設の木質化・リノベーション　入賞86

くまの就労支援センター ヨリドコ（和歌山県）

多田正治アトリエ（京都府）、NPO法人ぶろぼのくまの（和歌山県）、（株）野中工務店（和歌山県）

概要　和歌山県新宮市の仲之町商店街にある洋品店をリノベーションして、様々な"困り感"を抱える若者の居場所となり、就労に向けた訓練もできる施設をつくった。町の中心で多様な人材を育て、産業の下支えをし、地域をより豊かにしている。積極的に地域との連携を図るハブのような場所をつくり、新しい形の福祉を実現している。

評価ポイント　クラウドファウンディングや寄付を募り、施工の一部をワークショップ化して広い参加者とともに作り上げた小さな街の拠点である。地元産スギ材を使った縁側や多目的スペースは用途を限らず、気軽に集って欲しいという思いを体現するかのように優しいつくりである。

【閲覧先（連絡先）】
http://www.td-ms.com/works/yoridoko/index.html#work

ソーシャル｜公共施設・教育福祉施設の木質化・リノベーション　入賞87

西脇市立西脇小学校保存・改修に伴う基本計画および工事（兵庫県）

西脇市（兵庫県）、西脇小学校保存改修に伴う基本計画・設計組織（兵庫県）、（株）内藤設計（大阪府）、（株）吉住工務店（兵庫県）

概要　取り壊しか保存かの選択を問われていた築80年余の大規模木造校舎3棟について、平成27年度から研究組織を結成し、2年に亘る木造校舎の改修方法と構造・音響・温熱環境についての弱点について検討を行い、その計画・設計方針により、平成29年から3年間の改修工事を行い、安全と安心の確保、教育環境の整備を行った。

評価ポイント　既存木造校舎の改修にあたり、耐震、耐火やバリアフリー化、温熱環境への配慮などの対策を実施し、木造建築の価値を再認識させる契機を生んだ。ワークショップやアンケート調査、市民へのプレゼンテーションを通じ、改修の理解醸成を図った点は重要だ。

【閲覧先（連絡先）】
www.city.nishiwaki.lg.jp/kakukanogoannai/kyouikuiinkai/kyouikusoumuka/nishiwakisyougakkouhozonkaisyukouji/intex.html

ソーシャル｜その他の木質化・リノベーション　入賞88

日本基督教団 西条栄光教会牧師館（愛媛県）

西条栄光教会牧師館保存改修ワーキンググループ（愛媛県）、日本基督教団西条栄光教会（愛媛県）、長井建築設計室（愛媛県）、（有）柚山製材所ユヤマー級建築設計工房（愛媛県）、愛媛県農林水産研究所林業研究センター（愛媛県）

© 北村徹

概要　昭和26年に建築された西条栄光教会建築群は、江戸時代西条藩陣屋跡のお堀の中に建っている。浦辺鎮太郎の設計によるもので、北東の堀端に礼拝堂、その南に牧師館、西側に幼稚園があり、白い壁と瓦屋根にて統一され町並みを形成している。今回、牧師館を文化財的改修工事を行い、一部を保存展示空間としてまちづくりの一助となるよう計画した。

評価ポイント　戦後の近代木造モダニズム建築の改修であり、保存改修における調査、検証を通じその価値を共有するとともに、木材については再利用なども行っている。地域の文化財保存を多様な参画によって推進することで、文化的価値と木造建築の良さの認知向上につなげている。

【閲覧先（連絡先）】
https://saijoeiko.com/

ソーシャル｜集合住宅　入賞81

FLATS WOODS 木場（東京都）

（株）竹中工務店（東京都）、齋藤木材工業（株）（長野県）、（株）サイプレス・スナダヤ（愛媛県）、三井物産フォレスト（株）（東京都）、山佐木材（株）（鹿児島県）、（株）山長商店（和歌山県）

概要　江戸の木の集積地である木場エリアに立つ都市木造の旗艦となる252戸の単身寮の計画。複数企業の寮として、多くの人に中高層都市木造実現と木の心地よさを発信する。都市木造普及のために汎用性ある簡便な中高層木構造の接合部材を確立し、また日本の木に関わるステークホルダーをつなぐ森林グランドサイクルを実現する。

評価ポイント　新たに開発された木造部材の採用により、簡易かつ汎用性ある接合や施工方法を確立した社会提案性の高い、チャレンジングな取組である。12 階の共用部には各技術や部材をモチーフとした家具が配され、利用者が直接、木の温もりや香りを感じることができる。

【閲覧先（連絡先）】
https://www.l-place.jp/property/1237

ソーシャル｜店舗・商業施設・宿泊施設の木質化・リノベーション　入賞82

三井ガーデンホテル神宮外苑の杜プレミア（東京都）

三井不動産（株）（東京都）、清水建設（株）（東京都）、（株）日建設計（東京都）、（株）日建スペースデザイン（東京都）

概要　明治神宮外苑の杜に位置するホテル。都心にありながら全方位に豊かな眺望が望める稀有な立地特性を活かし、センターコア・全周バルコニー客室の計画とした。壁、天井に国産スギ材を用いた木の温もりに包まれたバルコニーでは、都心の喧騒から離れ、澄み透った空気の中でゆったりとした時の流れを感じながら過ごす事ができる。

評価ポイント　周辺の緑豊かな環境を活かす、全周木質バルコニーを持つホテルである。バルコニーの隔て壁と軒天井には国産のスギ材を活用し、都心ながらも緑と木に親しむ経験ができる場をつくった。木質感あるバルコニーのファサードが周辺地域の森と調和した風景を生んでいる。

【閲覧先（連絡先）】
https://www.gardenhotels.co.jp/jingugaientokyo-premier/

ソーシャル｜公共施設・教育福祉施設の木質化・リノベーション　入賞83

重要文化財 門司港駅復原プロジェクト（福岡県）

九州旅客鉄道（株）（福岡県）、公益財団法人文化財建造物保存技術協会（東京都）、九鉄工業（株）（福岡県）

概要　門司港駅は大正3年に創建された木造駅舎で昭和63年に現役の駅舎として初めて国宝重要文化財に指定され、経年劣化による大規模な修理を実施し創建当時の姿に復原した。駅舎の機能以外にもレストランやカフェを新設、駅の歴史や工事の過程の動画放映や調査資料展示等、重要文化財の駅舎を積極的に活用することに注力した。

評価ポイント　使われ続けている「生きた文化財」を、再生可能な既存の木の再利用、技法についても当時のものを採用するなど、木造駅舎の時間的価値を引き出すことで次の世代につなげる試みで社会提案性が高い。カフェや食堂を併設し、時の流れに思いを馳せながらくつろげる。

【閲覧先（連絡先）】
https://www.jrkyushu.co.jp/company/mojiko_sta/

ソーシャル｜公共施設・教育福祉施設の木質化・リノベーション　入賞84

東急池上線旗の台駅（東京都）

東急電鉄（株）（東京都）、（株）アトリエユニゾン（東京都）、（株）09.design（東京都）、縦建築事務所（東京都）、清水建設（株）（東京都）

概要　開業以来約70年の間地域住民に親しまれ、人々の暮らしを支えてきた駅施設のリニューアルプロジェクト。建替工事には地域産木材（多摩産材）の製材・CLT材を活用した。木材を "あらわし" とすることで 、木の肌合いやあたたかさを利用者が身近に感じ、経年変化により愛着がわくホーム空間を実現した。

評価ポイント　都内の鉄道施設としては初となるCLTを採用した駅で、経年変化を読み込みながら、木の質感を感じられるホームを実現した。日々、リピートして使う駅という存在ゆえに、利用者には木に触れる機会を広げ、環境配慮の面でも訴求力がある。

【閲覧先（連絡先）】https://www.tokyu.co.jp/index.html　https://www.tokyu.co.jp/image/news/pdf/20190729-1.pdf

ソーシャル｜寺社・仏閣　入賞77

善福寺山門新築（岐阜県）

（株）河村綜建（岐阜県）

概要　宝地院（貨園山善福寺）は2018年の台風21号の影響でひどく破損した。地元市民（檀家）より「はやく修繕してほしい」の願いが、新築の山門へと導いた。

評価ポイント　貴重なケヤキ材を使い、耐震、耐風構造を考慮しつつ、社寺建築の技を注ぎ込んだ山門は、地域で長きにわたり愛される美しい姿をしている。ケヤキの持つ色味や風合いを活かす仕事が、時間の経過とともに素材の魅力と文化的価値を伝えてくれるだろう。

【閲覧先（連絡先）】
http://ksouken.jp/

ソーシャル｜戸建・注文住宅　入賞78

森林認証のもり まさこの家（全体認証）（大阪府）

合同会社森林認証のもり（大阪府）、積水ハウス（株）（大阪府）

概要　日本初の戸建てSGEC/PEFCプロジェクト認証(全体認証)住宅。本認証は「森林認証のもり」が申請・取得した。認証材は全てSGEC認証材で、国産材の採用促進にも寄与している。非認証材においても、紙・バルブを含め全ての木材由来の部材がリスク調査済で、住宅購入を通した究極のエシカル消費と言える。

評価ポイント　住宅全体でのSGEC/PEFCプロジェクト認証取得の第一号として、社会へ高い発信力ある取組である。認証材を使った家づくりの知見と量産住宅モデルとの融合は、SDGs時代における消費者目線での家づくり、家選びに新たな選択肢を与えてくれる。

【閲覧先（連絡先）】
http://shin-mori.com/news20191203/
https://www.sekisuihouse.co.jp/company/sustainable/environment/biodiversity/activity2/act_2/

ソーシャル｜戸建・注文住宅　入賞79

福島県産材の家～福島林業復興エールハウス～（大阪府）

岩本泰典（大阪府）、（株）アーキヴィジョン広谷スタジオ（東京都）、中田建築工房（岐阜県）

概要　施主は災害復興に協力するため、福島県川内村に蓄光型セラミックの工場をつくり、古民家でコーヒーショップを運営したりしている。その中で、福島県産の木材が風評被害で販売量が極端に減少していることを知り、子供と相談して、若い世代の家を福島県産材を使ってつくることになった。

評価ポイント　復興支援の側面から福島県産材を多用した個人住宅で、インパクトあるファサードが街へ語りかけているような外観が面白い。内部は木構造と木質感を重視し、木に囲まれた暮らしを堪能できる。住宅全体に工夫された木の使い方の提案があり、その点においても発信力を持つ。

【閲覧先（連絡先）】
http://archivision-hs.co.jp/

ソーシャル｜戸建・注文住宅　入賞80

森と住処を結ぶ小径木の家｜9センチ角材のセルフビルドハウス（東京都）

長谷川順持建築デザインオフィス（株）（東京都）、（株）プロトハウス事務局（福岡県）、（株）ハヤシエ務店（千葉県）、（株）テオリアランバーテック（長野県）、（株）勝野木材（長野県）、（有）ヤマカ木材（長野県）

概要　国産材の小径丸太、間伐材の有効活用、平屋住宅の主構造を9センチ角材だけで架構した住まい。短材で軽量、子供や女性でも材料がとりまわせる。公的機関で検証した特殊木製ダボで接合も単縦化。この特性を活かし素人だけで建前を完遂したセルフビルド住宅。耐力壁、屋根下地に合板を不使用。災害時に備えたソーシャル構法。

評価ポイント　間伐材の高付加価値化を目指す、9センチ角材+木製ダボの住宅モデルで、住民や使い手の参加型を促すソーシャルプロダクツの良質な提案である。格子状の壁は光も取り込み、ギャラリー的な利用もできるため、趣味部屋や展示スペース、交流の場などに活用できそうだ。

【閲覧先（連絡先）】
https://www.interactive-concept.co.jp/origin/images/MorinoieDesign.pdf

ソーシャル｜公共施設　入賞73

多賀町中央公民館「多賀結いの森」（滋賀県）

多賀町（滋賀県）、大滝山林組合（滋賀県）、一級建築士事務所大西麻貴＋百田有希／o+h（東京都）、（株）桑原組（滋賀県）、（株）シェルター（山形県）

概要　町の木材を最大限使った、新しいまちづくりの拠点となる公民館。地元で入手しやすい製材を金物でつないで大きな片流れの屋根を様々な向きにかけ、多様なスケールの生まれる構成とした。屋根の隙間からは光が差し込み、雁行してつながる平面の間に庭や多賀の山々が垣間見える、たくさんの居場所が連続していく空間となった。

評価ポイント　地元産材を使った空間は、共用部にたくさんの居場所を設え、ベンチやキッチンが置かれていて互いの活動が見えるようになっている。公民館を広く開放して、使える木の空間として地域の活動を支えながら、町民との協働で林業再生を目指している施設である。

【閲覧先（連絡先）】
https://www.town.taga.lg.jp/contents_detail.php?co=kak&frmId=1204

ソーシャル｜公共施設　入賞74

高畠町立図書館（山形県）

パワープレイス（株）（東京都）、（有）テラダデザイン一級建築士事務所（東京都）、山形県高畠町（山形県）、羽山総合建設（株）（山形県）

概要　高畠町立図書館は多様なヒトと多様なコトが交わり繋がる拠点『縁の母屋』をコンセプトに設計した。図書館機能としての多様な本を読む場所に加えて中庭や舞台、縁側など地域との交流スペースを設けることで地域の縁を繋ぎ、みんなを受け入れる母屋のようなあたたかく開放された施設を目指した。

評価ポイント　内部空間は、薄めの木柱と書架の側板を一体にして、さらに木と鉄の異素材を組み合わせることで、省スペース化と視認性の向上を図った。様々な場所で読書を楽しめるよう家具も配置され、長時間居たくなる、地域材を活用した地域の交流拠点の趣きを感じさせる。

【閲覧先（連絡先）】
http://www.powerplace.co.jp/works/takahata-lib/

ソーシャル｜公共施設　入賞75

一宮市民協働センター「いちのぴあ」（兵庫県）

宍粟市（兵庫県）、共同設計（株）（東京都）、（株）山田憲明構造設計事務所（東京都）、ハマダ・宮藤特定建設工事共同企業体

概要　兵庫県宍粟市の一宮地区に建つ市民協働センターの建設工事である。宍粟市は林業が大変盛んであり、地元の「宍粟材」を用いて在来木造+RC造を採用し、地元の木の魅力にあふれた地域の生活拠点となっている。行政窓口、子育て支援、図書館、ホール、調理室、研修室等、地域の皆様が心地良く集える建物となっている。

評価ポイント　地元産のスギを使った木造ハーフアーチ構造は世界初の試みであり、開放感のある多目的のホールを実現させた。エントランスホールでは、同じく地元の杉を用いた格子細工が来訪者を迎える。外壁のガラスから見えるホール柱や梁がこの地が林業とともにあることを伝えている。

【閲覧先（連絡先）】
https://www.city.shiso.lg.jp/soshiki/chikusashiminkyoku/ichinomiyashiminkyoku/index.html

ソーシャル｜公共施設　入賞76

有明体操競技場（東京都）

（株）日建設計（東京都）、清水建設（株）（東京都）、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（東京都）

概要　有明体操競技場は、国際規模のスポーツ競技大会施設として利用され、大会後は仮設の客席部分等を撤去し、一部改修された後に展示場として利用される予定。かつて貯木場であった本敷地の記憶を表出したものであり、木の持つ特性を考慮し、適材適所な木材利用を追求した。日本各地から木材を調達し、約2,600m^{3}使用。

評価ポイント　日本の伝統的な木造建築の美しさを醸しつつ、多くの観客を迎え入れる競技場としての機能性を併せ持つ、世界に発信すべき建築である。競技エリア天井の木架構の現しなど、「質素で潔い建築」が見る者を圧倒する。

【閲覧先（連絡先）】
https://tokyo2020.org/ja/venues/ariake-gymnastics-centre

ライフスタイル ｜ 家具（ベッド含む）　入賞4

モクダイ001

宮城島崇人建築設計事務所（北海道）

【仕様・価格】1,350×762×680/20,000/150,000/https://takahitomiyagishima.com/projects/furniture/8339

概要　永く使える無垢のダイニングテーブルの提案。住む家によって床座か椅子座を選択できるように、簡易な仕組みで二通りの高さに組み替え可能。異なる種類の無垢材を並べた天板は簡単にバラバラにできるので部分交換やメンテナンスが可能。日々の暮らしのなかで、さまざまな樹の表情に触れ、質感の繊細な違いを楽しめる。

評価ポイント　異なる樹種の木の色味や質感、表情が独特の味わいを生み出す、オリジナリティ溢れるテーブルである。互いがゆるやかにつながった天板の両端をスチール脚にボルト留めしているシンプルな構造で、木の並べ方さえ守れば素材選びも可能で長く使い続けられる逸品である。

ライフスタイル ｜ 家具（ベッド含む）　入賞5

HERA CHAIR

（有）匠-TAKUMI（新潟県）

【仕様・価格】610×490×740/5,000/131,000/Forest voice https://www.forestvoice.jp/GLB STORE http://good-luck-brand.jp/

概要　ダイニングリラックスチェア。ダイニングチェアとリラックスチェアを兼ね備えた椅子。食事をするだけでなく、そのままくつろいでいただけるよう広い座面と包み込まれる背もたれとなっている。

評価ポイント　背もたれなどの曲線が美しく機能的で、これは女性職人が鉋や刀で削りだしたもの。なめらかな触感と座りやすさ、背もたれの形状など椅子としての魅力を引き出すための手仕事の技が注ぎ込まれている。地場産のブナ材の色味もよい。

ライフスタイル ｜ 雑貨・日用品　入賞6

WOOD AQUA FIRST KIT

Laboratory Panacea（岡山県）、（有）一場木工所（広島県）、HEREDIA KOMIYAMA（広島県）

【仕様・価格】190×95×280/1,000/8,800（税込）/https://www.woodaqua.jp/

概要　薬剤師兼アロマセラピストと技術士（森林部門/林産）の2名の女性がコラボした日本初ネズミサシ(Japanese Juniper)芳香蒸留水の商品化。芳香蒸留水をWoodRefresher除菌プラスの希釈水とした抗ウイルス・除菌洗浄剤セット。里山材の付加価値を高め、木のおもちゃなどの除菌、清掃など幅広く使用可能。

評価ポイント　木材利用に加え、鎮静効果などの効能が見込まれるネズミサシの成分を活用した独自性ある製品である。地域資源のフル活用と山村支援、消費者の暮らしの中での衛生、健康やリラックス効果の両輪を回す新たな試みと言える。

ライフスタイル ｜ 雑貨・日用品　入賞7

ミズナラボトル

NiiMo（新潟県）

【仕様・価格】83×83×320/400/28,000/https://niimo.store

概要　お酒が短期間で熟成できる木製ボトル。ミズナラボトルにお酒を直接注ぐとボトルの中でアルコールと木が反応して、お酒の熟成を促進させることで、高級酒の味わいになる。

評価ポイント　ミズナラはウイスキー樽の素材として高い評価を得ている木であり、自宅で酒を楽しむためのボトルに活用したユニークなプロダクトである。木地師（きじし）の技術を駆使したシンプルなつくりは、家庭以外にも店舗やアウトドアにもマッチする。

ソーシャル ｜ 床・壁・内外装材　入賞7

里山の木と杉柾目のハイブリッドCLT

（株）しそうの森の木（兵庫県）

【仕様・価格】（ハイブリッドCLT コナラ・杉柾目）910×2,430×21/23,860/84,000/しそうの森の木 tel.0790-63-1819 http://www.morinoki.or.jp

概要　表面に里山の広葉樹であるコナラやクリ、コア材にスギ柾目を使用し、軽量で曲がりにくい直交集成材。広葉樹の練り付けベニアのように単調性はなく、無垢感があり、シナランバーコアのように多用途で、例えばキッチンの前板、収納の扉、変形する什器など曲がりにくさを活かした用途に使える。

評価ポイント　里山の広葉樹とスギ柾目のハイブリッドCLTで、意匠の面白さを活かした製品開発につながりそうである。広葉樹林の多い地域における、里山の経済価値向上、スギの大径材の歩留まり向上につながる社会性の高い素材開発と言える。

ライフスタイル ｜ 家具（ベッド含む）　入賞1

Guideline System FULL NELSON

（株）九銘協（福岡県）、（株）ウエキ産業（福岡県）

【仕様・価格】1,170×400×360/20,000/300,000/九銘協 福岡市東箱崎ふ頭4-3-7 tel.092-641-7750

概要　剛性を持たせるための機能部分を敢えて側面に配置することで、薄い天板と板脚を(30mm)強調させるデザインに仕上げた。天板と脚部に施した溝に9.5mm角の鋼材を嵌め込むことで、天板と脚部を強く固定させ高い剛性を持たせている（一般的な板脚は裏に受け金物やビス等で補強するが、これらが不要）。

評価ポイント　シンプルで鋭角なフォルムが美しい、テーブル・ベンチのシステムである。側面に見える補強目的のためのスチールのフレームが木と異素材の組み合わせのコントラストを印象付け、洗練されたインテリアにマッチするデザインを生んでいる。

ライフスタイル ｜ 家具（ベッド含む）　入賞2

建具屋の腰かけ

椎名建具店（千葉県）

【仕様・価格】430×430×430/1,500/40,000/椎名建具店 tel.090-3537-5693

概要　地元の杉材や国産材を材料として地域の活性化に役立てればと考えた。椅子、スツール作りの肝の座面は建具作りに使う加工機械（クデ加工）を使用することにより感覚や熟練の技術を必要とせず、再現性、生産性を高められる意匠にした。座面の幅や奥行きも自由度がすこぶる高まる。座面は特許の意匠登録を得ている。

評価ポイント　建具の組子技術を活かした、緩やかな曲線を描く座面の意匠が面白く、座り心地も安定、かつ身体にフィットしてよい。和室に使われる建具とも調和する、使い勝手の良い家具である。

ライフスタイル ｜ 家具（ベッド含む）　入賞3

木林（きりん）/giraffe・日本の森のスツール

フォレストヴォイス（株）（東京都）、（有）匠（新潟県）

【仕様・価格】255×255×420/2,000/35,000/フォレストヴォイス店舗（渋谷区神宮前）https://forestvoice.jp

概要　地域材を使い、その地域の工房にて作られたスツールの販売システム。一つデザインの家具（スツール）を、日本各地の工房がその地域の木材を使って製作する。顧客は生まれ故郷やゆかりの地域の木、または好きな種類の木でつくられた家具をチョイスできるようにする。

評価ポイント　ブナやケヤキ、クス、スギなど数種類の無垢材から樹種を選べ、匠の技術で仕上げた純国産のスツールで、コンパクトでシンプルなデザインがよい。座面の触感が心地よく、3本脚の曲線は安定性をもたらし、収納面でも機能的である。

【仕様・価格】は幅×奥行×高さ（㎜）/重量（g）/価格（円）

ライフスタイル ｜ インテリア　入賞3

木のカーテン

（株）元尾商店（富山県）

【仕様・価格】（杉I型フラットタイプ）1,200×105×1,400/10,000/元尾商店 http://www.motoo.co.jp tel.076-451-8657

概要　この木のカーテンは表面にささくれを出さない加工をし、怪我や服などに引っ掛かる事を防いでいる。また、板の芯を中空にする弊社の特許技術を用い、軽量で反りにくい仕様になっている。直射日光を遮り風と光を柔らかく取り入れ、家の中で森林浴をしているように感じられる。和室、洋室どちらでも使用可能。

評価ポイント　木製カーテンの軽量化、反りやささくれの問題を解決するための加工技術を使った実用的なプロダクトである。木漏れ日のような、柔らかで温かみのある光を取り込むことができ、木の質感もよく、室内にあることで訴求力がある。

ライフスタイル ｜ エクステリア　入賞4

ObiRED®（飫肥杉赤身外構材）

ナイス（株）（神奈川県）

【仕様・価格】（ObiREDデッキ材）4,000×140×40/7,500/240,000（m3あたり）/ナイス 国産材利用開発部 横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1

概要　耐久性の高い飫肥杉赤身材を独自の乾燥技術でその品質が損なわないように仕上げ、「ObiRED®（オビレッド）」という名称でブランディングした。デッキやフェンスなどとして、多くの現場にご採用頂いている。耐久性をより高めたAZN処理材も加わり、進化したバリエーションとなっている。

評価ポイント　精油成分の多い飫肥杉の赤身に高い耐久性を持たせ、奥深い色味を使ったエクステリアの開発が可能で、経年変化も含めたデザインの幅を広げてくれる素材である。赤身材をとる大径木の付加価値化にも寄与する。

ハートフル ｜ 床・壁・内外装材　入賞5

バームクーヘン

（株）キーテック（東京都）

【仕様・価格】910×1×2,730/800/37,260/主に建築資材の流通代理店様を通じての販売

概要　「バームクーヘン」は、本物の木を極薄に加工することで、木目プリントシートにはない天然の木目と木の触り心地を実現した不燃内装材。LVLを単板にスライスし、シート状にすることで、平面だけでなく、曲面やL字型に貼ることが可能。

評価ポイント　個性ある木目を楽しむという木の魅力を活かせる、突板の極薄シートの内装材である。同社の製造技術を使った地元材によるオリジナルシートの制作も可能であり、大きな部分の地域材利用に加え、細部へのこだわりも可能になる。

ソーシャル ｜ 床・壁・内外装材　入賞6

木質構造用 高遮音床システム『SQサイレンス50』

東急建設（株）（東京都）、ナイス（株）（神奈川県）、淡路技建（株）（茨城県）

【仕様・価格】（遮音試験を行った際のシステム全体の試験体寸法）4,000×3,000×566.75/600,000/16,000（m2あたり・フローリング別途・乾式二重床部分のみ）/淡路技建 tel.029-873-4702 http://www.awaji-giken.

概要　本作品は、純木造や木質系混構造の建築物に最適化した高い遮音性能を有する床システム。床衝撃音遮断性能はLH-50を達成し、RC造に迫る遮音性能を有する。これより、住宅・非住宅問わず多用途の建築物における木質化・木造化を可能とし、これまで以上に建築物への木材利用が促進されることが期待される。

評価ポイント　集合住宅などの木造、木質化の促進に伴って増えることが予想される上下階の床衝撃音の課題に取り組んだシステムである。子どもがいる世帯、車いすを使う世帯など音に気を使うことが多い生活者始め、非住宅分野でもニーズが見込まれる。

ソーシャル ｜ その他の木質化・リノベーション　入賞89

JR日南線・日南駅舎 ～電車を待つだけじゃない、だれもが心地よく過ごせるコミュニティスペースとしての駅舎～（宮崎県）

（株）乃村工藝社（東京都）、宮崎県日南市（宮崎県）、パーク・デザイン（株）（宮崎県）、（株）良品計画（東京都）

【閲覧先（連絡先）】https://www.nomurakougei.co.jp/https://paak-design.co.jp/work/日南駅/

概要　改装前は電車乗降のための待合室のみの場であった日南駅舎のリニューアルに向けて、電車を待つだけじゃない、コミュニティを育む場づくりをコンセプトに設計者と駅舎を利用する地域住民とのワークショップなどを実践した共創の取組を設計に活かす。駅舎利用を通じて地域資源の魅力を伝えるために日南市の特産品である「飫肥杉」を空間の各所に積極的に採用した。

評価ポイント　施設の改装のあり方を、地元高校生や住民、職員、デザイナーとの協働によって導き出した参画型プログラムであり、親しみの持てる木質空間が出来上がった。参画を通じて、地元の木や森林のことを知り、実際に使い、それをまた伝えるという好循環が期待できる。

ソーシャル ｜ その他の木質化・リノベーション　入賞90

東武鬼怒川線 新高徳駅 木造駅舎レトロ化（栃木県）

東武鉄道（株）（東京都）、（株）オー・エヌ・オー大野設計（東京都）、東武建設（株）（栃木県）

【閲覧先（連絡先）】https://www.tobu.co.jp/railway/guide/station/info/4204/

概要　東武鬼怒川線においてはSL大樹の運行開始以降レトロ化を進めており「新高徳駅」についても統一した世界観を今回つくり出している。“内外装の全面的な木質化”を推進し、色味や外壁の下見板張り、縁側の設置や駅名板などレトロ感を表現した。あわせて登録有形文化財のホーム上家の復原補修も行っている。

評価ポイント　SL路線の駅舎の統一デザイン化の一環であり、旅の非日常感を味わう仕掛けとして、全面的な木質化を推進している。ここを拠点として店舗や観光地、街づくりへとレトロ感を醸し出す木質化がさらに広がり、路線エリアの魅力が高まっていくことを望む。

ライフスタイル ｜ 構造材　入賞1

高強度接着パネルによる在来軸組工法

（株）ヤマダホームズ（群馬県）

【仕様・価格】（当構造における代表的耐力パネル寸法）760×30×2,430/8,630,000/3,500,000（当製品の標準的な構造体の総額）/全国各支店が地場プレカット会社と提携

概要　面材耐力壁を進化させた通気機能付き高強度接着真壁パネルによる在来軸組工法。パンチングシェアや釘引きぬけによる耐力低下を工場接着パネルで解消。壁体内に新たな通気層を作る事で壁体内に籠る湿気を排出。これらにより木造軸組住宅の長寿命化を実現。建て起こし施工も可能で都市狭小敷地での木造建築の可能性も広げた。

評価ポイント　中規模地震で起こる緩みや施工ムラによる強度低下などの課題に対する接着パネルをつかった軸組工法の提案で、木造住宅の長寿命化に寄与するものである。省力化や工期短縮にもつながり、地震が多い我が国における木造建築の選択肢を広げるものである。

ライフスタイル ｜ インテリア　入賞2

Continuum

（株）九銘協（福岡県）

【仕様・価格】（総長約10m、6900+3000mmL型）9,900×600×40/100,000/1,500,000/九銘協 tel.092-641-7750

概要　無節材で長尺のカウンター導入の相談を受け、和室の廻縁として使用される吉野桧45mm角を13°の傾角をつけて接ぎ合せることで、無節で縦継ぎの無いカウンターに仕上げた。柾目が強調された斜めに連続するラインが特徴で、この継ぎ方であれば理論上は無限に縦継ぎの無いカウンターの製作が可能。

評価ポイント　斜めに継ぎ合わせた連続性のある木の意匠が、独特の緊張感を生み出し、店舗の顔となるカウンターで使えばインパクトがある。インテリアの木質化デザインでは新規性が光るアイデアが少ないなか、店舗設計の視点から見ても刺激をもらえるような斬新さが本作品にはある。

【仕様・価格】は幅×奥行×高さ（㎜）/重量（g）/価格（円）

ライフスタイル ｜その他　入賞20

山形式フェンス

山形県（山形県）

概要　公共施設等に導入できる木製フェンスのモデルとして、風・雪に耐えられるよう構造計算を行った木塀。一般流通材を重ねて作成したシンプルな構造とした。

評価ポイント　地震災害でブロック塀の倒壊事故の発生などの背景もあり、比較的軽い木製フェンスが注目されている。地域性を考慮し、耐風、耐雪を満たす構造を有する製品であり、歩行者や施設利用者等の安全向上に寄与する。一般流通材を使っているため汎用性も高い。

【仕様・価格】2,000×560×1,500/290,000/150,000(mあたり・県がモデル的に設置したフェンス)/mail:ymorimiku@pref.yamagata.jp

ライフスタイル ｜ その他　入賞21

QRwood

ハッチ・クリエイト・ワークス（株）（大阪府）

概要　これまで有効活用されなかった端材に対して、利用価値を与える為に2次元バーコードを彫りこんだ。スマホでの読み込みが可能なので、情報展開のツールとして利用できる。無機質なバーコードでも木材を使う事によって、暖かみのある物になりインテリア性もアップするので、お店や展示会などで活用して頂ける。

評価ポイント　木材にバーコードを彫り込むという独創性を評価した。木質感のある立体的な意匠は人々の興味を引き、ついアクセスしたくなるインパクトを持つ。自然志向、健康志向などの店舗や施設、イベントにおいても親和性がありそうである。

【仕様・価格】100×45×100/250/8,000/https://hcw.jp/inhouseplan

ハートフル ｜ 家具（ベッド含む）　入賞22

obon table / Table for the Blind by the Blind

NPO法人みのり（埼玉県）、平井百香（宮城県）、細田真之介（東京都）

概要　視覚障害者自身の生活の工夫や感性を活かした、新たなデザインの可能性を探るB.B.table（Table for the Blind by the Blind）プロジェクトの第1弾である。テーブル上の物を手触りで把握しやすいように、物の位置を固定するため、天板にクレーター状の凹みをデザインしている。

評価ポイント　テーブル天板の凹みによって食器などを固定しつつ、視覚障害の人でもその位置を把握しやすいデザインになっており、触覚を活かしたバリアフリー製品である。エッジをなくし木の柔らかさのおかげで、撫でても安心である。天板を裏返すとフラットなテーブルとして使える。

【仕様・価格】（obon table）900×600×700/15,000/80,000/
NPO法人みのり 領家グリーンゲイブルズ tel.048-729-8264 mail:info@ageo-minori.or.jp www.ageo-minori.or.jp

ハートフル ｜ 家具（ベッド含む）　入賞23

ランドセルスツール

（有）ヒノキクラフト（静岡県）

概要　小学校6年間、ずっと一緒にいた大切なランドセル。卒業すると不用品と化して、捨てるに捨てられず何年も倉庫の片隅に放置、ランドセルその後によくある話である。思い入れのある子どもの使ったランドセルを、卒業後、便利で本格的なランドセルスツールにリメイクした。

評価ポイント　ランドセルという子どもにとっての思い出が詰まった品をリメイク、かぶせの皮を使って丈夫でコンパクトな折りたたみ椅子に仕上げた。アウトドアやサブ的な椅子として使える、記憶のデザインとしてのチャーミングな家具である。

【仕様・価格】350×350×420/1,800/17,000/
https://randsel-stool.com

ライフスタイル ｜ オフィス・施設用家具　入賞16

flow

（株）KIJIN（東京都）、（株）ソーケン製作所（東京都）

概要　「雰囲気まで仕切らない」新感覚パーテーション。本体は全て国産スギの間伐材。木フレームの中に極薄のルーバー板を流し、空気や光を通し空間の流れを仕切らず、でもそこには確実に仕切りが存在するという新たな感覚を味わえる。重量も他社製品の1/3ほどの圧倒的な軽さでオフィス内で自由にレイアウト変更可能。

評価ポイント　フリーアドレスやフレキシブルな間仕切りなど、オフィスの使われ方が変化・進化している現代のニーズに応える製品。木ルーバーの採用で通風も遮ることなく、見た目の優しさと香りがオフィスに安らぎを与える。軽量である点も重要だ。

【仕様・価格】915×50×1,800/5,600/98,000/tel.03-5809-7464 mail:info@kijin.co.jp 今後、代理店で販売も予定

ライフスタイル ｜ 什器　入賞17

智頭杉バイクラック

一般社団法人麒麟のまち観光局（鳥取県）、（株）サカモト（鳥取県）、TRAIL ON（鳥取県）、ヤママスデザイン（鳥取県）

概要　近年、全国的な取組が行われている「サイクルツーリズム」を自然や観光資源の豊かな鳥取県では積極的に推進している。サイクルツーリズム経験者は約1,581万人、国内消費は年間1,256億円というマーケットに注目し、「智頭杉」を使った木製バイクラックを制作した。

評価ポイント　自然に親しみ身体を使う観光の形として注目されるサイクルツーリズム。自然豊かな街並みに馴染み、大切な愛車を停めておく優しさ、柔らかさが表現されている。地域材を活用し、地域の魅力を伝えるコミュニケーションツールでもある。

【仕様・価格】1,860×910×1,290/15,000/50,000/下記へ問い合わせ
一般社団法人麒麟のまち観光局 tel.0857-50-1785 TRAIL ON tel.080-1649-1796 株式会社サカモト tel.0858-75-0758

ライフスタイル ｜ 大型遊具　入賞18

KOYATENT

（株）長谷萬（東京都）

概要　簡単・スピーディーに組み立て・解体が可能な新しいタイプの小屋型テントシステム。木造住宅の構造部材の技術を応用し、木軸で作る小屋の安心感とテントの軽やかさをあわせ持った、木の温もりあふれる空間をどこでも簡単に作れる。キャンプ場や幼稚園等の遊びスペースとして利用できる小屋空間商品。

評価ポイント　自らの手でつくり分解することでキャンプなどを楽しみつつ、木に触れる機会を増やしてくれる。子どもでも運搬可能なパネルサイズを採用するなど、家族や学校での利用も想定されており、様々なイベント等で活躍してくれそうである。

【仕様・価格】（Sタイプ）3,435×5,125×2,215/300,000/450,000/
株式会社長谷萬 もくラボ事業部 tel.03-5245-1151 mail:info@mokulabo.com

ライフスタイル ｜ 大型遊具　入賞19

イルローザバウム

（株）かたちとことばデザイン舎（徳島県）、（株）イルローザ（徳島県）とくしま建築学生スタジオ（徳島県）

概要　奥に設置し子供だけが使う、という従来のキッズスペースの概念を見直し、老若男女誰もが使える「様々な高さを持つソファ」+「本棚」という機能を満たす分解式家具。小さな子の遊びスペース・子供がお澄ましして過ごすちょっとした緊張感、およびその空間利用者全員による見守りを生み出すキッズスペース×インテリア空間。

評価ポイント　ドーナツ型の中央部分で子どもが遊び、それを取り囲むように座れるソファ、下部の本棚など、多様な利用者が集う空間に適した家具である。木製インテリアとしてフローリング床や木を多用した内装の空間にマッチするデザインである。

【仕様・価格】（バウムソファ）2,600×2,600×500/60,000/1,500,000/h.takahashi.arch@gmail.com

【仕様・価格】は幅×奥行×高さ（㎜）/重量（g）/価格（円）

ライフスタイル ｜ 文具　入賞12

お守り福笑 家内安全 学業成就

（有）小野沢家具店（富山県）、柏木玲子（東京都）

概要　様々な自然災害が起こりうる日本において、災害に巻き込まれることなく笑顔でいられるよう願う気持ちを込めた、防災用お守り型の笛（ホイッスル）。国産ヒノキ材使用。およそ100デシベルの音を発して居場所を知らせたり、危険を知らせる。家内安全は高さの異なる音で、雑音が多い環境でも音が届く。

評価ポイント　木製の笛のため、触った感じも温かく、身に着けても冷たさがない。板の構造を使って音を出しているため、水に濡れたり凍ってしまっても音が出るので災害時でもきちんと使える。お守りの形が本製品に込めた思いをメッセージしているようである。

【仕様・価格】（家内安全）30×7×52/5/2,000/小野沢家具店 http://onozawakagu.co.jp

ライフスタイル ｜ 楽器　入賞13

北海道産エゾマツ材サイレントウクレレ "elevocco"

（株）クワイアン（北海道）

概要　北海道産エゾマツ材のサイレントウクレレ。音響特性に優れたエゾマツを、楽器全体で振動を生み出す一体削り出しで製作することで「家でも静かに楽しく弾ける」を実現。多様化するライフスタイルに合わせた楽器かつ地域の間伐材を利用した製品としてこれからの社会に貢献できる作品。

評価ポイント　在宅時間の長い時代にあって、近隣に音の問題を気にすることなく弾ける楽器である。音響特性に優れたエゾマツを利用することで振動を使って奏でる点に特徴がある。細身で軽い本作品は可搬性や収納性に優れるだけでなく、幹が細い材の有効活用にもつながっている。

【仕様・価格】（elevocco Concert）95×45×610/450/39,900/クワイアンウェブショップ https://quiam.theshop.jp/　全国の楽器店（島村楽器、山野楽器、他）

ライフスタイル ｜ 楽器　入賞14

CLASSIC KIT FOR YAMAHA ELECTONE ELS01/02

丸善木材（株）（北海道）、CADUCITY鈴木一浩音楽制作室（北海道）

概要　ハイテクデザインの現代の電子オルガンを時代を越えたクラシックモダンデザインにする試み。アカデミックな環境やクラシカルな声楽や管弦楽などのアンサンブルステージ、バンド演奏や劇伴シーンでのフォーマルなデザインを求めるニーズに対応すべく本物の木を使い熟練の職人の洗練された加工で重厚に仕上げた外装を提案。

評価ポイント　最先端の電子楽器の外観を木質化するキットという、ニッチでありながら、コンサート等のトータルなデザインを考えるうえで重要なアプローチである。音楽を聞く際にビジュアルとしての柔らかさや温もりを付加してくれるクリエイティブな試みである。

【仕様・価格】1,200×700×1,100/50,000/800,000/1,100/50,000/800,000/丸善木材 tel.0154-37-1561 mail:info@maruzenmokuzai.com

ライフスタイル ｜ オフィス・施設用家具　入賞15

天竜杉を活用したベンチ「stripe」シリーズ

浜松市林業振興課森林・林業政策グループ（静岡県）、飛驒産業（株）（岐阜県）

概要　浜松市と共同で天竜杉の活用を目指して開発されたベンチ「stripe」。4つのパターンを組み合わせることで、心地よい木質感を感じることが出来る。公共空間での使用を想定しており、多様なレイアウトがしやすい設計仕様。光を浴びた圧縮天竜杉は独特の存在感を生み出し、空間を引き立てる。また人体に合わせた快適な座り心地を目指した。

評価ポイント　独自の圧縮技術を施し表面硬度を高めたスギ材のベンチで、名称通りの、重たさのないシャープな意匠が美しい。座面の座り心地など様々な人が集う公共空間などでの利用に細かな配慮がなされている。広い空間を引き締めてくれる存在感のある家具である。

【仕様・価格】（KU664 ベンチ）1,600×395×410/25,800/180,000/飛驒の家具館 高山 takayama@hidanokagukan.com 担当営業 tel.080-8264-0968

ライフスタイル ｜ 雑貨・日用品　入賞8

ひねり髪すき/撥水

アートフォルム（有）（秋田県）

概要　丸い頭をとかすくしがなぜまっすぐなのかという問いと、濡れ髪で使っても折れない丈夫なくしを探すお客様の思い。その答えが「ひねり髪すき」である。斧が折れるほど固い貴重な樹木である斧折樺（おのおれかんば）を素材に、地道な手仕事で歯先に与えられた立体的な曲線で創り上げた。実用新案による撥水加工を施している。

評価ポイント　木の触感を感じながら髪をとかし、同時に頭皮マッサージもできる、意匠も美しい櫛である。フォルムがS字曲線を描いているため、持ちやすく、机に置いても簡単に拾いあげられるなど細部の心遣いもよい。撥水加工も実用的である。

【仕様・価格】（中杢）135×50×18/55/30,000/http://store.artform.jp/日本橋丸善・JR名古屋タカシマヤ、遠鉄百貨店

ライフスタイル ｜ 雑貨・日用品　入賞9

樹木から生まれた マスク&フォレストミスト

縁樹の糸（大阪府）、高野山寺領森林組合（和歌山県）

概要　樹木から生まれた布マスクとファブリックミスト。高野山の自然と文化が織りなす、新しいオーガニックアイテム。自然とのつながりをここちよく愉しむライフスタイルを提案する。自然・産業・文化の循環を高め、持続可能性のある未来へ貢献する。

評価ポイント　マスクは高野山内の間伐材、端材などを繊維に再生したものを利用、木の香りでリラックス効果があり、息もしやすく速乾性や消臭性に優れる。ミストは天然樹木由来の成分で癒し効果や抗菌・除菌、消臭効果をもたらす。日常空間でも森を感じる、人に優しいアイテムである。

【仕様・価格】（高野山の杉・檜など）マスク 150×15×170/20/1,500～ ミスト110×30×170/100/2,500 https://engi-ito.com/高野山内施設、ふるさと納税予定

ライフスタイル ｜ 遊具・玩具　入賞10

ゆとり玩具 Cúkor

小枝ワークス（愛知県）、monolaughic（愛知県）

概要　形はシンプル、組み合わせ無限大。玩具の新しい概念を創り出す、片付けない「ゆとり玩具」。磁石でくっつく壁面ピタゴラレールで、多忙な子育て家庭や保育教育施設等のスタッフの負担を軽減する。お子様から高齢の方まで幅広い年代の方に楽しんでいただけ、ご家庭に加え交流スペースやオフィス等、様々なシーンで利用できる。

評価ポイント　自由な発想で遊びを作り出せる玩具で、国産広葉樹を使い磁石部分も木シートで覆ってあり安全で触った感じも柔らかだ。無限の組み合わせが考えられ、磁石がくっつくところであればどこでも使える点も便利である。

【仕様・価格】（木立ちシリーズ）320×230×25/800/29,800/一部受注生産 https://cukors.com mail: info@cukors.com

ライフスタイル ｜ 文具　入賞11

木硯（もっけん）

YOAKE（福岡県）、TAWARA（福岡県）

概要　本来の陶硯ではなく、目の詰まった硬質の材木である槐（エンジュ）を使用した木の硯である。一本を半割りにした後本体と蓋を削り出している。主に墨を摺って使用する書道や、インクを使ったカリグラフィーの分野での利用を目的としている。

評価ポイント　手書き文化の復権と素材としての木の活用を融合させ、日本の文化を再認識させるという意欲的な作品で、硯の質感がとてもよい。材料であるエンジュの一本を半割にしているため、蓋を閉めるとひとつの木の塊に見え、オブジェのような存在にもなる。

【仕様・価格】130×90×30/200/27,000/
https://yoakekagu.com/

【仕様・価格】は幅×奥行×高さ（㎜）/重量（g）/価格（円）

ハートフル｜遊具・玩具　入賞36

おもちゃ箱

たむろ木材カンパニー（広島県）

【仕様・価格】300×300×260/3,300/10,000/たむろ木材カンパニー https://tamuro-mokuzai.jp/ tel.082-263-6648

概要　ビー玉がキラキラひかり、コロコロ動く、おもちゃ箱。蓋を閉めるとテーブルや椅子になる。大人は、整理箱として使える。子どもたちは、おもちゃの片付けが楽しくなること、間違いなし。贈物として好適な売れ筋商品。集成材の特性を活かして作った。

評価ポイント　ヒノキ集成材の側面に埋め込まれたビー玉がアクセントになって、子どもがお気に入りの玩具をしまっておける、愛着の持てるアイテムである。ふたを閉めればままごとや絵描きにも使えるミニテーブルになる。

ハートフル｜文具　入賞37

「普通に、木の文具」シリーズ

一般社団法人kikito（滋賀県）

【仕様・価格】（木のふぁいる30w）307×242×45/359/1,350/（Mitte）http://mitte.ltd/（STORES.jp）https://kikito.shop/（creema）https://www.creema.jp/c/kikito/item/onsale kikito事務局 mail:info@kikito.jp

概要　地域の普通の木を普通に素材として、普通の人が使うモノを作りたいと思った。それが、「普通に木の文具」シリーズ。高価なものや日常使いできない物ではなくい日常的に使うモノ。本来、日本の生活には普通に木が溶け込んでいた。それを現代で考えると、文具だと思った。一般の人が普通に購入できる価格で普通に使うモノ。

評価ポイント　間伐材のスギに板紙を挟んでつくられている木のファイルは軽く、木目も異なるため、ひとつひとつに個性がある。製品の普及を通じて小径木などに付加価値を与え健全な森づくりに貢献するとともに、脱プラスチックという時代のニーズにも応える。

ハートフル｜楽器　入賞38

あんずウクレレ科野（SHINANO）

Sumi工房（長野県）、中村木工所（長野県）、千曲市産業支援センター（長野県）、モリ電子（長野県）、森 政教（長野県）

【仕様・価格】（あんずウクレレ科野(SHINANO)）200×70×595/550/180,000（参考）/Sumi工房 tel.0268-42-6237 モリ電子 tel.026-275-2173 mail:mori_denshi@yahoo.co.jp

概要　環境保護上入手困難な輸入材を使わない、国産木材100%のウクレレ。国産材の特性を調査し音響性の良い適材として地元果樹材のアンズを主要材とし伐採収集をした。ネックにはシナノキ、指板はクロガキ、バインディングにイタヤカエデを採用。弦楽器製造50年の匠が制作したプロ仕様の楽器。粒立ちが良くクリアーで深い音。

評価ポイント　使われる木材のすべてを国産材としたウクレレで、適材適所での木材利用を工夫し、ボディの響きなど音質の良さと扱いやすさを実現している。アンズの無垢材の木目と色合いが高級感を醸し出す、演奏家向けの本格的な楽器である。

ハートフル｜楽器　入賞39

東秩父村の森から生まれた大太鼓ばち

（株）ふじさん（埼玉県）

【仕様・価格】590×120×80/1,542/20,000/https://fujisun.raku-uru.jp/

概要　日本で最も長い歴史を持つ和太鼓集団、鬼太鼓座の大太鼓ばちを鬼太鼓座合宿所の所在地である埼玉県唯一の村・東秩父村エリアのヒノキから製作した。和太鼓愛好者はもちろん、国内外の日本文化を愛する多くの人に所有する喜びを感じていただける特別な一品。

評価ポイント　国内外で活躍する創作和太鼓集団である鬼太鼓座の座員が、実際に公演で使用しているバチと同じ仕様で本格的なもの。地元産のヒノキ材を使ったバチは、和太鼓という文化を伝えるツールでもあり、演奏しない人でもその存在感に感動する。

ハートフル｜キッチン・食器　入賞32

HEXa（ヘキサ）

GRIND ARCHITECTS 髙田明秀（広島県）、前田基貴（広島県）

【仕様・価格】75×75×40/10/15,000〜20,000/https://www.hexa-hiroshima.com/shop

概要　木材である「ヒノキ」や「ネズミサシ」、「ホオノキ」を用いた間伐材を採用、広島県内の職人による「組木」の伝統技術を用いた生産工程でつくられる、広島県産の日本酒や洋酒、飲料水とマッチする製品。県産材と県内技術によってつくり上げ、広島産のお酒を交えて伝統や文化を伝えるツールとなるよう考えた。

評価ポイント　外周は円形、酒が入る内側は六角形のデザインは加工に高度な技術を要する。丸みがあるため持ちやすく、飲みやすい。ヒノキやホオノキ、ネズミサシといった樹種ごとの香りの味わいも趣きがあり、地元食材と合わせて酒宴を楽しみたくなる器である。

ハートフル｜キッチン・食器　入賞33

美杯

（株）アサヒ研創（福島県）

【仕様・価格】48×38×48/20/1,800（税抜き）/株式会社アサヒ研創 http://www.asahi.e-arc.jp/

概要　美しく、感動できる盃。美味しい日本酒を呑める盃。極限まで繊細に仕上げられた呑み口。すべてが繊細に仕上げられている。まるで紙のような仕上がりである。木目、木の美しさを極限まで活かすために、ウレタン塗装の木肌仕上げとした。

評価ポイント　薄く、口当たりも滑らかな杯であり、酒の味をダイレクトに伝えてくれる。木目のきれいさとその薄さに驚きがあり、普段使いでももちろんよいが、祝い事や賓客のおもてなしの時など喜ばれそうなプロダクトである。

ハートフル｜遊具・玩具　入賞34

スクエアキューブパズル

計測・解析ラボ（MaDA Lab）（岩手県）

【仕様・価格】135×135×20/210/16,000/https://ohashi714.wixsite.com/squarecube

概要　小学校低学年から高齢者まで手を動かしながら頭を使って遊ぶパズル。16個のピースを立体的に組み合わせて立方体を、平面的に並べて正方形を完成させる。多数の組み立て方法があるので飽きることなく楽しむことができる。ピースに内蔵したマグネットにより安定して組み立てられる。

評価ポイント　一見、木製積み木のように見えるが、各ピースの中にはマグネットが埋め込まれており、ピースをくっつけて組み上げる立体パズルである。アカマツの多彩な色味をデザインに活かした、シンプルだが奥の深い玩具である。

ハートフル｜遊具・玩具　入賞35

わなげ（ペンギン）

たむろ木材カンパニー（広島県）

【仕様・価格】150×130×320/600/10,000/たむろ木材カンパニー https://tamuro-mokuzai.jp/ tel.082-263-6648

概要　わなげ（ペンギン）は、弊社にある3種類のわなげ（きりん・ペンギン・ぞう）の中で一番人気の商品。このツートンカラーのかわいいボディーのペンギンは、わなげで楽しめるが、車輪付きなので引っ張って歩くことができる。職人技の車輪軸で、よちよち歩き、その姿がかわいくてたまらない。

評価ポイント　愛らしい木製ペンギンを引いて遊んだり、輪投げを楽しんだりと小さな子どもへのプレゼントにふさわしい。余分な装飾を省き、木の手触りや風合いをそのまま活かしたつくりは、長く使いたくなるような飽きのこないデザインである。

【仕様・価格】は幅×奥行×高さ（㎜）/重量（g）/価格（円）

ハートフル｜雑貨・日用品　入賞28

ひねり髪すき/Japan

アートフォルム（有）（秋田県）

【仕様・価格】135×50×18/55/30,000/http//:store.artform.jp 日本橋丸善・JR名古屋タカシマヤ、遠鉄百貨店

概要　丸い頭をとかすくしがなぜまっすぐなのかという問いと、濡れ髪で使っても折れない丈夫なくしを探すお客様の思い。その答えが「ひねり髪すき」である。斧が折れるほど固い貴重な樹木である斧折樺（おのおれかんば）を素材に、地道な手仕事で歯先に与えられた立体的な曲線で創り上げた。日本の新しい櫛の形である。

評価ポイント　絶妙な曲線のフォルムには、櫛の先が頭皮にフィットし、肌触りの心地良さや血行促進を促すという機能性が隠されている。海外の有名アーティストにもファンが多いという逸品で、固い素材から手作業で一本一本削りだされ、独特の味わいを醸し出している。

ハートフル｜雑貨・日用品　入賞29

日本の新しい天然マテリアル「木から生まれた布マスク」

（株）リトゥリバース（京都府）

【仕様・価格】170×20×120/3/1,200（税抜）/BASE sanlai https://sanlai.thebase.in

概要　2020年新型コロナウィルス感染症の世界的大流行によるマスクの着用がエチケットとなった今、木糸の自然の抗菌効果・調湿性・速乾性を生かして布マスクを生産・販売した。

評価ポイント　間伐材を原料とする木糸から織られた布を素材としたマスクで、抗菌、防臭、調湿性、速乾性などの機能に優れる時宜を得た製品である。木糸の風合いが女性のファンデーションを目立たなくしてくれるといった効果も見られている。

ハートフル｜雑貨・日用品　入賞30

日本の新しい天然マテリアル「木糸エコバックシリーズ」

（株）リトゥリバース（京都府）

【仕様・価格】（中）380×180×330/40/2,900（税抜）/https://sanlai.thebase.in

概要　レジバックが有料化となり、エコバックがバックインアイテムの一つとなった。木糸の布で出来たエコバックは軽さと速乾性と使い古しは土に還るところがとてもエコな素材である。特に山來のシンボルを刺繍しただけのシンプルさから男性が持てるエコバックとして評価をいただいている。

評価ポイント　木糸の布でつくられたエコバッグで脱プラスチックの象徴としてのアイテムとしてアピール力がある製品である。自然な色合いとマチの取り方など普段使いのエコアイテムとして、クオリティの高いバッグである。

ハートフル｜雑貨・日用品　入賞31

森をまとう 六甲の糸・ファブリック＆六甲山の香り・ファブリックミスト

六甲山サイレンスリゾート（兵庫県）、縁樹の糸（大阪府）

【仕様・価格】ウッドシルクスカーフ/45×180×1/20/18,000円/アロマミスト 六甲山の香り/115×40×26/96/2,000円/どちらも税別六甲山サイレンスリゾート https://rokkosansilence-resort.com/

概要　六甲山の樹木から生まれたファブリック製品とボタニカルミストスプレー。リゾート施設内の間伐材や建築端材廃材を製品へ再生。六甲の大自然と文化が織りなすオリジナルアイテム。自然とのつながりを愉しむひとときとライフスタイルを提案。自然・産業・文化の循環を高め、持続可能性のある未来へ貢献する。

評価ポイント　ウッドシルクスカーフは繊維原料として六甲山産杉を使用しており、アロマミストはミスト原料に六甲山産杉や国産ヒノキ、ヒバ等のエッセンスを使用している。自然と一体化したリゾートにふさわしい、新しい形の木に触れ、感じるプロダクトである。

ハートフル｜家具（ベッド含む）　入賞24

東濃檜 高さ調節すのこベッド

（株）ディノス・セシール（東京都）、（株）アオキウッド（岐阜県）、（株）友和商会（大阪府）

【仕様・価格】（幅80長さ180）800×1,800×410/28,000/46,900/通販カタログ「dinos of LIFE」または オンラインショップ　http://www.dinos.co.jp/p/1323601437/

概要　小柄な女性や都市型狭小住宅などライフスタイルの変化に対応できる幅80cm長さ180cm等のショートサイズの追加や小上がり使いの提案などリニューアルを施した。素材は100%東濃檜を使用。角に丸みを持たせた優しい作り、布団でもマットレスでも使える高さ調節機能と通気性の良いすのこが自慢のベッド。

評価ポイント　現代の住宅事情に合わせてサイズをコンパクトにしたほか、2台を並べて小上がりとして使うなど、限られたスペースの有効利用をテーマに取り組んだ、木の香りと柔らかさが感じられる家具である。すのこ型で通気性にも優れる。

ハートフル｜家具（ベッド含む）　入賞25

田所さんの丸いす ひのき

社会福祉法人小高坂更生センター（高知県）

【仕様・価格】（52.5cm）290×290×525/2,000/5,500/木作り工房こだかさ https://www.kidukurikobo.jp/

概要　木作り工房の製品づくりをしている職人の田所さんが自身の作業用に作製して使っていたもので、他のスタッフも普段から愛用していたことから製品化した。

評価ポイント　高知県産ヒノキでつくられた丸座面のスツールで、質素で丈夫なつくりが明快でよい。使う場所や人を選ばない、スタンダードなデザインであるからこそ、長く使いたくなる、それを改めて感じさせてくれる椅子である。

ハートフル｜家具（ベッド含む）　入賞26

国産ひのき天然木すのこベッド

（株）ディノス・セシール（東京都）、（株）チヨダコーポレーション（広島県）

【仕様・価格】（棚ありお得な2点セット）(1,020×2)×2,100×550/(30,000×2)/64,900/通販カタログ「dinos of LIFE」またはオンラインショップ http://www.dinos.co.jp/p/N000419474/（代表商品）

概要　国産のヒノキ天然木を使用した木の香りに癒されるすのこベッド。和布団でも快適な寝心地で、通気性もばっちり。2台でご購入の場合は、並べてもずれにくいよう専用の連結金具もお届け。家族で川の字派にもおすすめである。無垢材ならではの頑丈さと、日本製ならではの細やかな気配りが沢山詰まったベッド。

評価ポイント　豊かなヒノキの香りを日々、感じることができ、安眠効果も期待できるベッドである。シンプルで飾らない意匠は置く場所を選ばず、使いやすそうだ。通気性もあり、使い慣れた布団を置いてベッドにしてもよい。

ハートフル｜家具（ベッド含む）　入賞27

マッシブスツール

幸光家具（熊本県）

【仕様・価格】380×380×435/3,300/100,000/https://saikou-kagu.com/ https://www.instagram.com/hikaru.nature_furniture/

概要　全てスギ材だけで構成されたスツール。スギ本来の魅力である柔らかさを存分に楽しんでいただける様、座面を大きくした。手鉋で削り出した座面は優しく体を包み込み、長時間座っていても疲れを感じさせない。シンプルなデザインは全ての年代の方に楽しんで頂ける。

評価ポイント　樹齢100年以上のスギ材の力強さを活かしながらデザインされた椅子で、座面も大きめで座りやすく安定性がある。幅広の柾目材を使った脚部が見た目のインパクトを与えており、どっしりと根を張った樹木のようなイメージがある。

【仕様・価格】は幅×奥行×高さ（㎜）/重量（g）/価格（円）

ハートフル｜大型遊具　入賞44

木製遊具 創造

（株）エヌ・エス・ピー（岐阜県）

【仕様・価格】（木製遊具 創造 システムL-D）11,420×6,800×2,900/1,665,000/5,124,700/
エヌ・エス・ピー https://www.kknsp.jp/

概要　屋外用木製遊具で、直径60mm～150mmの桧丸太を使用し単体遊具と基本パーツの組み合わせで構成されたシステム遊具があり、地上設置型で基礎不要なのが特長。主に保育園・幼稚園の園庭で使用され、システム遊具では後からの基本パーツの変更や追加も可能なので、園庭に合わせた遊具を提案できる。

評価ポイント　30年以上にわたる木製遊具製造の実績に基づき、時代の需要と安全性の向上に応えている大型遊具である。幼児が屋外で思い切り、かつ安全に遊ぶことができるような構成と丸太を中心とした質素ながら飽きのこないデザインは、これからも長く支持されていくだろう。

ハートフル｜伝統工芸品　入賞40

鳴子

社会福祉法人小高坂更生センター（高知県）

【仕様・価格】（NH-1000標準型鳴子スタンダードカラー両バチ）77×30×197/65/1,000/
鳴子工房こだかさ https://www.narukokobo.jp/

概要　鳴子は、もともと稲穂に群がる害鳥（雀など）を追い払う目的で縄などに板や小さな竹などを吊り下げて、揺らして音を出す農具として作られた。その後、手に持つように改良されて、よさこい鳴子踊りの必需品になった。2つ一組で使われ、踊り子は踊りに合わせ、楽器のように打ち鳴らしながら舞い踊る。

評価ポイント　全国的に人気になっているよさこい祭りの重要アイテムとして認知されている鳴子であるが、県産ヒノキを使い、手作業でつくられる本品は伝統的な形や色彩を踏襲しながらも、また別の形で現在に生きる木の文化として面白い。

ハートフル｜大型遊具　入賞45

IKONIH プール

IKONIH（大阪府）

【仕様・価格】（プレーンフェンス）565×100×500/4,160/30,000/https://ikonih.jp/ または地域販売代理店（佐藤木材工業、ハイフォレスト、村上木材、後藤木材、京北プレカット、東野材木店、新宅善廣商店、福島製材、井上企画他）

概要　無塗装の国産ヒノキを使用した屋内型組み立て遊具。連結する数により大きさ・形を自由に変えられる枠の中に、木球をたくさん入れたボールプール。子育て関連施設、家族で訪れる商業施設、住宅展示場やイベント会場などにおいて、乳幼児から小中学生までを対象。

評価ポイント　無垢の国産ヒノキを使った木製ボールとフレームで、木の香りを楽しんだり、抗菌効果なども期待でき、親子ともども安心して遊べる遊具である。幼児期の木育ツールとして、施設やイベントなどでも人気になるだろう。サイズやオプションも多様で場に合った設えが可能だ。

ハートフル｜オフィス・施設用家具　入賞41

Toyama furniture 木と人

ウッドリンク（株）（富山県）、（株）米三（富山県）、ESOLA FACTORY（石川県）

【仕様・価格】（ワークデスク単体）1,202×700×700/26,943/142,000/
株式会社米三 https://kagu.komesan.jp/shopdetail/000000002017/

概要　高層ビルが立ち並ぶ市街地に通勤し、無機質な室内は電子機器に囲まれて長時間過ごすオフィス空間を想定。スギの特性を生かしながら自由度での利用の高い連結構造で、オフィス空間の快適さと集中しやすい環境づくりを目指した。コントラクト分野への柔軟な展開を考慮した製品シリーズ。塗装色やサイズ調整、セミオーダーも対応可能。

評価ポイント　富山県産のスギ材、県内の家具木工所、鉄工所と連携してつくられるオフィス用家具で、手仕事の味わいと洗練された意匠がよい。スギのもたらす意匠や機能を活かし、目に優しい、手触りが温かい、リラックス効果が期待できるなど多様なオフィス需要に応えるものである。

ハートフル｜大型遊具　入賞46

ひみレール

氷見市（富山県）、一般財団法人氷見市花と緑のまちづくり協会（富山県）、ペントン企画室（茨城県）、（株）元尾商店（富山県）

【仕様・価格】1,045×380×582（車両サイズ）/55,000/5,645,000（車両、レールなど一式の販売価格）/氷見市海浜植物園へ問い合わせ tel.0766-91-0100

概要　氷見市海浜植物園発、未来行。こどもが乗って遊べる木製電車「ひみレール」は、ひみ里山スギを使って製作された鉄道型遊具。アクセルを踏んでレバーを降ろすだけの簡単操作と安全設計により、小さなこどもでも「できた」という達成感と満足感が芽生え、思わず笑顔に。木の温もりに包まれた45秒の木製電車の旅へ、出発進行！

評価ポイント　実際に乗って運転して遊べる木製電車で子どもたちを魅了する、楽しい遊具である。車両だけでなく、レールやトンネル、踏切から駅まですべてのアイテムが木でつくられており、地域材活用の可能性と環境への配慮に満ちた訴求力ある提案と言える。

ハートフル｜オフィス・施設用家具　入賞42

TOPpingBoard

（株）KIJIN（東京都）

【仕様・価格】1,600×700×44/12,000/55,000/
https://toppingboard.jp

概要　TOPpingBoardは、既存のデスクに国産スギ無垢材の天板を乗せることで手頃に手軽に行える新しい“ 職場環境改善 ”リノベーションサービス。フルリノベーションの5分の1以下の費用で、デスク1台につきたった0.5分で、社会貢献しながら従業員満足度が上がるオフィス木化空間に変えることができる。

評価ポイント　オフィスの木質化をやりたいが、なかなか時間と手間が捻出できない、といったニーズに応えるアイデア製品。デスクの天板として無垢材を乗せるだけという簡単な方法だが、空間の木質率は格段に上がり、実際の手触りや香りも手に入れることができ、取り入れやすい。

ハートフル｜その他　入賞47

木質ペレットストーブ「OU」

（株）山本製作所（山形県）、（株）アトリエセツナ（山形県）、（株）天童木工（山形県）、（株）菊地保寿堂（山形県）

【仕様・価格】422×545×813/100,000/オープンプライス（実勢600,000）/東京ペレット、暖炉家nagaya、ハイズホイズ、ライフガーデンなど 代理店一覧：https://www.yamamoto-ss.co.jp/sp_pellet/dealer/

概要　ペレットストーブは、間伐材や製材所で発生するおが屑を圧縮成形した物を燃料とする、人と地球に優しい暖房機だ。本製品をコンパクトで家具や工芸品のように暮らしにフィットさせるために、外装部品に山形県産スギ材を原料とした圧密成形合板と鋳物を採用し、日本のライフスタイルに調和する暖房機を目指した。

評価ポイント　燃料であるペレットが地域の間伐材や未利用材の活用につながることはもちろん、ストーブの外装までも木質化するこだわりある製品。木に包まれた空間になじみ、木質のリビングやインテリアに調和するトータルデザインが可能になる。

ハートフル｜大型遊具　入賞43

木製ブロック ズレンガ

（株）浅尾（滋賀県）

【仕様・価格】170×40×85/200/600,000/
株式会社浅尾 tel.0749-62-2419 https://www.zurenga.com/

概要　ズレンガは、レンガのような大きさの木製ブロックで、子供達だけで実際に入れるお家が作れる。また、全ての面で連結可能なので大型で複雑な構造物でも安定して作ることが可能。ユーザーは、保育園や放課後クラブなどの施設はもちろん、地元の特産品やシンボル等を組立てて、町おこしイベントなどに活用できる。

評価ポイント　2種類のパーツからなるレンガのような大きさのブロックで実際に入れる大きさのものまでつくれる。積み上げるだけの積木とは違い、全ての面で連結可能なので動物やロボットなどの複雑な形状物でも直感的に、かつ巨大に組み立てることが可能で魅力的だ。

【仕様・価格】は幅×奥行×高さ（㎜）/重量（g）/価格（円）

ソーシャル｜什器　入賞52

多摩産材リヤカー屋台

美光印刷（株）（東京都）、（株）五ノ神製作所（東京都）

【仕様・価格】940×2,700×2,050/120,000/1,200,000/美光印刷株式会社 https://bikoh.tokyo/tokyosanzai/ tel.0428-30-5433

概要　地元の多摩産材（東京の多摩地域産の木材）の利活用を推進するために、スギ、ヒノキを利用してラーメンを提供できるリヤカー屋台を製作した。リヤカー屋台は原動機付自転車で牽引でき、イベント等での飲食物の提供や店舗外での外販等が可能なことから、売上低下に苦しむ飲食業の支援に繋げることができる。

評価ポイント　飲食用の屋台に使いやすそうな、地域材を使ったリヤカー屋台だが、軽量化に挑戦して移動性を向上させている。移動式店舗が増加している今、オーガニックや地元食材を使うメニューなどにマッチしそうな風合いを持っている。

ソーシャル｜家具（ベッド含む）　入賞48

Mori:toチェア

オークヴィレッジ（株）（岐阜県）、群馬県利根郡みなかみ町（群馬県）

【仕様・価格】490×530×850/4,000/67,000/オークヴィレッジ高山 tel.0577-68-2220 ※東京と大阪に直営店舗あり オンラインショップ https://shop.oakv.co.jp/

概要　「森と人を繋ぐ椅子」をコンセプトに、群馬県みなかみ町で自伐型林業により伐り出された小径広葉樹を使用。ウィンザーチェア様式を踏襲しながらも日本の伝統的な木組みを用い、現代の生活にあわせた座り心地と軽さを実現した。家具用材としての利用が難しいとされるコナラを適材適所の考え方に基づき有効活用した椅子。

評価ポイント　自伐型林業によるモデル林から刈り出されるクリ、コナラなどの小径広葉樹を使い、持続可能な森林づくりに寄与する家具シリーズ。木組みによる見た目のシャープさ、軽さと座り心地を併せ持つ、高品質の椅子である。

ソーシャル｜その他　入賞53

木材繊維補強ポーラスコンクリート

住友林業（株）（茨城県）

【仕様・価格】地域、発注量により変動/住友林業（株）木材建材事業本部 住宅建設資材営業部東日本営業G

概要　ゲリラ豪雨やヒートアイランド問題に対応する、高強度・高透水・低蓄熱性の住友林業オリジナルの透水性舗装。高分散・高保水性の特殊な木材繊維を補強材として使用することで、高い強度と暑中打設性を実現。木材がコンクリートを補強するという逆転の発想により、外構の木質化に新しい選択肢を提供し、木の価値を高める。

評価ポイント　コンクリートに木材繊維を添加することで、外構工事での木材利用の需要拡大につなげた新たな試みであり、社会提案性が高い。機能性の向上と品質の安定のための技術開発が顕著である。同様の工事に使われる合成樹脂を木材に転換するという面で時代の要請にも応える。

ソーシャル｜雑貨・日用品　入賞49

除菌・抗菌・消臭剤 リーフパワー

（株）ユウシステム（大阪府）

【仕様・価格】58×58×179/250/750/
株式会社ユウシステム http://www.yu-system.co.jp/leaf_power.html
全国森林組合連合会 http:www.zenmori.org/

概要　原料であるヒノキ葉は森林の健全な成長に必要な間伐で間引いた木の葉を活用している。葉を有効活用することにより森林整備につながり環境に優しい商品。

評価ポイント　間伐等で発生したヒノキの葉を活用した消臭、除菌に効果を得られる製品で、ヒノキの付加価値化と健全な森づくりに貢献する。優しい香りは家庭内のみならず、学校や病院、スポーツ施設などでも、気持ちよく使えるはずである。

ソーシャル｜その他　入賞54

Tiny house WOW

HIJ.（株）（滋賀県）、（株）ひらつか建築（滋賀県）

【仕様・価格】（ロングサイズ(LONG)）2,500×6,100× 2,725/1,900,000/3,500,000（オプション工事、設置付 帯工事を除く）

概要　タイニーハウスWOW(ワオ)は、滋賀県多賀町で地元木材を使って製造する、丸い形が特徴の小さな建物である。丸太を横たえた様な円筒形の外観と、杉の板が描く曲線の内装が特徴で、秘密基地の様な空間が「私を楽しむ世界へ」誘う。店舗やオフィス、宿泊施設や趣味の部屋など自由にカスタマイズできる。

評価ポイント　目を引く外観、キャンプテントや山小屋のような木の質感に囲まれた内装が楽しい空間の提案である。地元材の価値向上のための木材の新たな用途開発に資する、自然派のツーリングや釣りなど、自然に親しむ趣味のある層に響きそうなプロダクトだ。

ソーシャル｜雑貨・日用品　入賞50

エレファントスプーン

（株）Casokdo（東京都）

【仕様・価格】20×100×24/30/3,200～/
http://www.arigatogiving.com

概要　握り方でお箸の練習になるこれからの新しいスプーンのカタチ。人差し指と親指でつまむように持つと、お箸や鉛筆を持つ指に近い形で持つことできる。つまむ握り方を自然とするスプーンで、早くからお箸の握り方に近い持ち方に慣れて、お箸の練習がスムーズに移行できるよう新しいスプーンの形を考えた。

評価ポイント　箸や鉛筆を持つ指の形を使う、いわゆる3点持ちの練習につながる、国産のケヤキやヒノキの素材でつくられたスプーンで可愛らしいフォルムがよい。製造は長崎の社会福祉法人が行なっているソーシャルプロダクトでもある。

ソーシャル｜その他　入賞55

世界初の森林認証のお菓子 ちちぶまゆ

合同会社森林認証のもり（大阪府）

【仕様・価格】（ちちぶまゆ10個入り）180×80×160/100/556/森林認証のもり http://shin-mori.com

概要　ちちぶまゆは世界で初めてSGEC/PEFC認証を受けたお菓子(マシュマロ)である。このお菓子の中にはSGEC/PEFC森林認証を取得している秩父市有林のカエデの木から採取した樹液をシロップ化した秩父カエデ糖が入っている。ちちぶまゆの売上の一部は秩父市の森林整備に使われる。製造は秩父中村屋。

評価ポイント　森林認証を取得した菓子という新たなジャンルを拓いた、独自性の高い製品。菓子の販売・購買を通じて、地域の森林資源の保全、サステナブルな社会づくりに参画できるという話題性もあり、消費者へのアピール力が強い。

ソーシャル｜什器　入賞51

三重県産木材を使ったリヤカー屋台

きのわ木工堂（三重県）、一般社団法人大紀町地域活性化協議会（三重県）、大紀町商工会（三重県）

【仕様・価格】（いっちょ！号）2,380×2,040×2,060/95,000/280,000/
https://kinowamokkodo.com/

概要　一定の長さに満たない、住宅の素材には使えない地元の木材（主に杉）を使っている。ベースとなるリヤカーは、1台1台大きさや形、フレームの太さが違うため、イメージを膨らませ木材を極力無駄にしないよう設計した。地域のイベント・祭り・マルシェなどで身の丈に合わせた個性的な商品の販売を行う方針である。

評価ポイント　1台ずつカスタマイズして制作される木製リヤカーで、地域材の活用、地域林業の支援につながるようにとの思いから生まれた。量産品にはない手作りの味わいで、屋台が作り手の伝えたいメッセージを運んでいるようであり、親しみ深い。

【仕様・価格】は幅×奥行×高さ（㎜）/重量（g）/価格（円）

ソーシャル ｜ 普及・啓発（システム）　入賞13

都市森林プロジェクト

湧口善之（東京都）、都市森林（株）（東京都）、一般社団法人街の木ものづくりネットワーク（東京都）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】各種イベントの参加費は無料/https://www.toshiringyou.com/

概要　街の木の仕組をアップデートして、まちづくりと街造りを変えていく。一事例として、南町田では長期にわたる再開発工事の折々にたくさんの住民が関わりながら、公園や商業施設の緑のあり方をアップデートすることに取組み、一連の取組みの結節点として、50樹種にも及ぶ街の木で作られたライブラリーが誕生した。

評価ポイント　再開発によって伐採された樹木や商業施設にあった木などを再利用し、多様な樹種を使った図書館の内装に生まれ変わらせた。800名以上の参加者による、都市の資源としての樹木のリデザインプロジェクトであり、空間を生み出すプロセスがソーシャルデザインになっている。

ソーシャル ｜ 普及・啓発（システム）　入賞14

日本CLT技術研究所ネットワークとCLTを使った自社建築

ライフデザイン・カバヤ（株）（岡山県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】フランチャイズチェーン加盟費 1,000,000円、年会費 200,000円/日本CLT技術研究所（NCL）ライフデザイン・カバヤ内 tel:0120-50-6663 info@nc-labo.jp

概要　国内の中小ゼネコンおよび工務店のために、CLT工法を活用した中小規模木造建築で、①売り上げの拡大、②社会・政策・地球環境への貢献、③技術ノウハウの蓄積を実現するために仕組みを構築した。フランチャイズチェーン形式をとっている。

評価ポイント　CLT工法普及のため、技術や設計のノウハウを提供するネットワークの構築で木材利用の幅を広げる取組である。構造検討がやりやすいCLT工法のソフト開発、産学協同による新たなCLT工法普及など、サポート体制の整備もあって参画と実施のハードルを下げ、普及に貢献している。

ソーシャル ｜ 普及・啓発（システム）　入賞15

森の輪

森の輪プロジェクト（北海道）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】12万～（2019年から現在までの参加自治体費用より）各自治体で年間出生児に贈る製品の総額、自治体ごとの出生数等により異なります。お気軽にお問い合わせください。/森の輪HPへ問い合わせhttps://www.morinowakko.com

概要　赤ちゃんとその保護者に自治体から木製玩具「森の輪（わっこ）」を贈る取組。森と人、人と人との繋がりの輪が生まれ広がって欲しいという願いをこめ、各自治体で伐採した木で、地域の職人の手で作り、地域に生まれた赤ちゃんに贈る。赤ちゃんとその保護者の皆さんに木を知ってもらうきっかけともなる取組である。

評価ポイント　地域ごとの樹種を使い、地域の手でつくられるドーナツ型の木製玩具で、同梱の紙やすりで大人が自分でメンテナンスをしてあげられるため、親子ともども地域の木に触れる機会を増やしてくれる。握ったり舐めたり噛んだりといった乳児期に必要な行為を誘発し、かつ安全である。

ソーシャル ｜ 普及・啓発（ツール・メディア）　入賞16

木の魅力を幅広く発信するTVプログラム「新素適音楽館」

YOUテレビ（株）（神奈川県）、ナイス（株）（神奈川県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】なし/横浜・川崎の臨海部都市エリアをカバーするYOUテレビをはじめ、イッツコムやJ:COM、横浜ケーブルビジョンなど、全国89局にて配信。そのほか、ナイス㈱が運営するウェブサイトでも視聴可能。

概要　「日本の財産である森林・木材の利用について先進的な事例を紹介する」をコンセプトにした15分のTV番組。林業の現場から話題の木造建築物や木材製品等について、川上から川下までのサプライチェーン全体を俯瞰しながら紹介。累計36番組を製作、北海道から沖縄まで全国60局、約1,600万世帯に配信している。

評価ポイント　森林や木材利用に特化したテレビ番組として、その実績、規模とも秀逸な取組である。建築や木製品など木に関わる人、環境、技術などのストーリーを丹念に追い、視聴後には実際に行ってみたい、使ってみたいと思わせてくれる。林業関係者のモチベーション向上にもつながる貴重な活動。

ソーシャル ｜ イベント・ワークショップ（単発）　入賞9

くしろ木づなフェスティバル2019

釧路森林資源活用円卓会議（北海道）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】無料（一部数百円程度の有料工作あり）/釧路森林資源活用円卓会議事務局 tel.0154-31-2552（釧路市産業振興部農林課）

概要　木材供給側から需要側まで幅広い関係者が集まり地域材の需要拡大とその循環を進めている「釧路森林資源活用円卓会議」の10周年の取組として、木工体験や木育広場・ステージショーなどを盛り込んだイベントを開催。地域住民に木を「見て、触れて、感じて」もらい、林業・木材産業への理解を深め関心を高める取組を行った。

評価ポイント　道内の企業・団体・大学の参画により、木育や各種体験プログラム、林業機械実演など、子ども・家族から専門家・事業者まで幅広い対象にした規模の大きなイベントである。地域の資源と技術、産業の認知向上に寄与する継続的な活動として、今後も進化を続けて欲しい。

ソーシャル ｜ イベント・ワークショップ（単発）　入賞10

山中漆器工場[オンライン見学ツアー]

（有）白鷺木工（石川県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】未定（当分は無料で実施予定）/ウェブサイトからの申し込み

概要　弊社の木工丸物挽物を製造している工程を、オンラインで見学していただく企画。ビデオ会議システム「zoom」を通じて遠隔で見学・体験していただく。山中漆器の歴史や漆器ができるまでの工程、加工前の原木や漆塗りの見学などを実施。参加者の欲しい商品を職人と一緒に選び購入することもできる。

評価ポイント　オンラインによるライブ中継のメリットは、普段なかなか見られない職人の手元の細かな動きや周囲の音に左右されずに必要な解説や音声を挿入できるといった点である。ツアー行程を移動を介さずにこなすことができ、物語性を伝えやすい。これを契機に実際の体験や購買につながるとよい。

ソーシャル ｜ イベント・ワークショップ（定期開催）　入賞11

森を祝う「みんなの夏至祭」

私の森.jp＋森を祝う「みんなの夏至祭」の仲間たち（東京都）、（有）グラム・デザイン（東京都）、（株）ゴバイミドリ（東京都）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】4,000円（参加費・大人1名）/有限会社グラム・デザイン/私の森.jp運営事務局 tel.03-5768-8040

概要　毎年夏至の週末に、中山間地の里山から届く植物を室内に飾って森を出現させ、太陽と森、森に関わる人びとに感謝するイベント。都市生活に慣れた私たちの五感を「森」へ向けて開放し、中山間地の人びとと繋がりをつくる。同じ想いのある人たちをつないで緑の縁をつくり、明日の活動にもつなげてゆく。対象者不問。

評価ポイント　都市内に森を「出前する」という試みで、夏至祭というテーマを設定することで、季節感と森への敬愛の念を示している。都市と山村をつなぎ、森や木をより身近なものに感じてもらうことで、さらに日常に木を取り入れるきっかけになることを期待する。

ソーシャル ｜ イベント・ワークショップ（定期開催）　入賞12

地域密着型「こども大工アカデミー」

（株）新和建設（愛知県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】無料/随時イベント情報を公式ホームページに掲載 https://www.sinwanet.co.jp/co_event/c/38/124/

概要　木のモノづくりを通して、子供から親世代に国産材利用への関心を高めてもらうプロジェクト。自社で育成した大工棟梁が講師となり、岐阜県産材を利用した椅子や小物を実際につくってもらう。多くの人に木に触れる楽しさや木のぬくもりを知ってもらい、木造の住まいづくりを行う会社として地域活性化に貢献する。

評価ポイント　地域の木材を使い、地元の大工棟梁から手ほどきを受けながら椅子や小物を制作する活動で、地域材利用の意味や匠の技の見聞を通じて地域へ貢献する良質なプログラムである。外出自粛の期間においては自宅でできる木工キットを開発、棟梁の説明動画とともに展開した継続性も素晴らしい。

ハートフル ｜ イベント・ワークショップ（定期開催）　入賞5

『HITA SUGI しめ縄』

（有）高村木材（大分県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】1,500～2,500円/有限会社高村木材 https://www.takamura-mokuzai.com/ tel.0973-24-9249

概要　藁縄いに始まり、地産の針葉樹を添えるしめ縄。フレッシュなスギ・ヒノキ・マツの葉は日田の山から。地元の木に触れ、木と愉しみ、木でつくる。何かと忙しない師走に、ちょっと目を閉じ清々しい山の香りに包まれ深呼吸。思い思いのレイアウトと創造する時間を楽しむワークショップ。

評価ポイント　地元林業家と協働して、地元の木を使いながらオリジナルでつくるプロセスは、クリエイティブな行為を通じて山側と消費者を結び、素材の面白さや奥深さを伝えている。伝統文化を守りつつ現代の暮らしに活かす、身近な木の利用の良質な取組として好感が持てる。

ハートフル ｜ 大型遊具　入賞6

みんなでつくる木のたまごプール

長門おもちゃ美術館（山口県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】1,000円（参加料、たまご2個）/長門おもちゃ美術館 0837-27-0337 https://www.nagato-toymuseum.com/

概要　長門おもちゃ美術館の人気遊具に「木のたまごプール」がある。約4000個の木のたまごが入っているが、このうちの2000個は市内の小中学生が学校で自分たちの手で作ってくれたもの。現在は一般の参加者がワークショップで製作してくれている。

評価ポイント　地場産のスギやヒノキを使ったたまごを2個製作して名前を入れ、1つを美術館のプールに、1つを持ち帰るという参加型の発展形コンテンツで自分事化の仕組みがよくできている。増えていく木のたまごが個々の思いの蓄積である。

ハートフル ｜ 普及・啓発（システム）　入賞7

学びと体験の教室 ―将来の仕事の選択肢―

ケイアイスター不動産（株）（埼玉県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】場所を提供いただければ無償で実施/ケイアイスター不動産 総務部　mail: keiai-otoiawase@ki-group.co.jp

概要　小学校高学年を対象。実際の小学校教育では建築に特化した教育は行われていない。建築がどういった仕事か。建築というものに将来の夢や興味を持つ子供にはより理解を深められるよう、そうではない子供には建築を知るきっかけとなるように座学・実技・体験の構成で木造住宅を通した「建築を学ぶプログラム」。

評価ポイント　建築は総合学習であり、素材や構造、環境や生活まで幅広い知識を習得するにふさわしいテーマである。木造軸組住宅のモックアップを組み立てながら、木という素材や構造や温熱環境のことを学べる、将来の木造建築設計の担い手を育む取組である。

ハートフル ｜ 普及・啓発（ツール・メディア）　入賞8

FORESTARIUM ―木の価値の総合的な体験装置―

住友林業（株）筑波研究所（茨城県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】イベント実績では入場料等の徴収なし/住友林業株式会社筑波研究所 堀田 HOTTA_shuugo@star.sfc.co.jp

概要　木の見た目、手触り、香り、森林環境音などを感じられる木の総合的な体験装置で、「FORESTARIUM」と命名。木の幹をイメージしたデザインとなっており、国産材スギ等の突板シートで樹種の違いを演出するなどして「木の中で、木を感じる」体験を提供する。また、木に対する感性評価の検証フィールドとしても活用する。

評価ポイント　木の魅力や効能を五感で感じることのできる実験装置でスギ、ヒノキなど樹種ごとの違いも体験できるインタラクションデザインになっている。木の効能についてのデータ収集・分析も実施しており、脳波測定による集中度や沈静度の変化等についても検証、木質化促進に寄与する。

ライフスタイル ｜ イベント・ワークショップ（定期開催）　入賞1

MOKU1-GP（モクワン-グランプリ）

「コサキの木」MOKU1-GP（東京都）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】1,000～3,000円（ワークショップ・イベントによる、木のミニカー教材、レース含む）/墨田区（スカイツリーから徒歩10分）に常設コース準備中（森のオモチャ箱coms1952@yahoo.co.jp）

概要　「モクワンGP」は、サイズ、重量、タイヤなどレギュレーションがある、気軽に楽しめる滑り台コースのシンプルな「木」のミニカーレース。五感を刺激し、林業育成（地方創生）、教育改革＝情操教育（木育）、モノ作り（技術）、社会福祉＝障害者支援（SELP）など多くの事を解決する。

評価ポイント　滑り台型のコースで手作りの木製ミニカーを走らせて競うゲームだが、車体の大きさや重さにも規定を設け、早く走るように自分で工夫するなどプログラムが練られている。森林や木の理解醸成、技術やものづくり教育の促進をエンターテインメントとして結実させている。

ライフスタイル ｜ 教育・研修システム　入賞2

中高大連携森林学習プロジェクト～学んで守ろう僕らの森林～

近畿大学農学部（奈良県）、奈良県（奈良県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】（無料/近畿大学農学部環境管理学科教授　松本光朗 matsumoto@nara.kindai.ac.jp

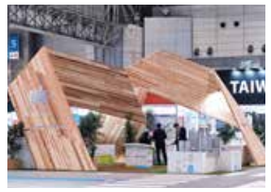
概要　本プロジェクトは、大学生が中学校・高等学校に出向き、普段の授業では取り扱われない森林・林業に関する授業を行う活動である。これまで中高生に向けた出張講義、グループワーク、林業体験、パンフレット作成等を行った。これにより中高生が森林・林業を学び関心を高めると同時に、大学生の学びの機会とすることができた。

評価ポイント　通常の授業では行われていない中高生向けの森林環境教育を、大学生が講師となり教えることで双方の理解促進に寄与する優れた取組である。SDGsが注目されるなかで、森林をテーマにした多面的な学びが、同時代性の問題意識を持つ若い世代に広がっていくことを期待する。

ハートフル ｜ イベント・ワークショップ（単発）　入賞3

CEATEC2019 大成建設展示ブース

大成建設（株）（東京都）、銘建工業（株）（岡山県）



【費用/体験・入手方法（連絡先）】入場登録のうえ無料/https://www.taisei.co.jp/

概要　CEATECはアジア最大級のIT技術とエレクトロニクスの国際展示会である。会場に未来の街を構築する企画の下、その趣旨にふさわしいブースデザインを目指した。近未来に建材としての活用が期待されることからCLTを主材料とし、“見えないつながり”を表す紙垂をモチーフに、一枚の紙を折るような造形を実現した。

評価ポイント　施主や設計者、施工者の想いのつながりを、しめ縄につけられる紙垂をモチーフにして純CLT構造で展示ブースとして造形したユニークな試み。印象的な外観が来訪者の興味をそそる。会期後も解体、再利用ができる設計としている点も重要。

ハートフル ｜ イベント・ワークショップ（定期開催）　入賞4

八ヶ岳カラマツチェンバロ・プロジェクト

（株）八ヶ岳高原ロッジ（長野県）、久保田チェンバロ工房（埼玉県）、双葉林業合資会社（長野県）、（株）そごう・西武（東京都）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】1,600円（コンサートチケット料金）、小・中学生無料/八ヶ岳高原ロッジ tel.0267-98-2131

概要　（株）そごう・西武を事業主とし（株）八ヶ岳高原ロッジが運営管理する「八ヶ岳高原海の口自然郷」は、33万本のカラマツの植樹を原点に開発57年の歴史を持つ。2018年、敷地内の八ヶ岳高原音楽堂開館30周年に、地場のカラマツで「チェンバロ」を製作し、「自然と人と文化の共生」を伝える演奏会を継続開催している。

評価ポイント　33万本のカラマツを植えることから始まり、50年余の時を経て日本最大級の高原リゾートとなった八ヶ岳で、自然、森林、芸術が織りなす新たな取組として評価した。国内屈指の木造コンサートホールで奏でられるチェンバロは、木目を大切にした美しいデザインが特徴的である。

ソーシャル ｜ 教育・研修システム　入賞29

フォレストビジネスカレッジ

フォレストビジネスカレッジ（栃木県）、（株）トーセン（栃木県）、（株）那珂川バイオマス（栃木県）、羽越木材協同組合（山形県）、FOREST MEDIA WORKS（株）（岐阜県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】研修生になることは無料。研修生になる際は、トーセングループ内の会社に籍を置いて、給料が払われる仕組みを採っている/トーセンのHPより「働きながら学ぶ『フォレストビジネスカレッジ』2020年春」より申し込み

概要　林業現場作業経験者を対象とした現場マネジメント、組織経営（独立含）ができるリーダー育成を目的とし、リアルな現場で働きながら学ぶ1年間の研修プロジェクト。チームの安全と効率性に重点を置いたマインドを持つ少数精鋭の現場リーダーを育成し、彼らを中心として林業業界をより高いレベルに引き上げることが目的。

評価ポイント　林業大学校等で実施されている作業員育成を補完すべく、現場のマネジメントや安全性指導を実行するリーダーを育成するプログラムで国内では貴重な活動である。経営マインドを持ち、効率性や改善力を重視した林業が促進されることで、木材の付加価値向上につながっていくと考える。

ソーシャル ｜ その他　入賞30

産学官連携による地域材利活用と木育の推進プロジェクト

小国町（山形県）、東北芸術工科大学（山形県）、（株）オカムラ（神奈川県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】参加無料/小国町役場 白い森ブランド戦略室

概要　小国町、東北芸術工科大学、株式会社オカムラの三者が連携し、学生の家具デザイン演習、町民ワークショップ、家具の贈呈を行うことで、小国の子供たちが町の木々にふれ合う機会や、ユーザーとの意見交換を通した学生の実践的な学びの場を創出する。

評価ポイント　自治体、大学、企業の連携による地域材活用、木育の推進という、これから求められるマッチングの良質な先行モデルである。住民への理解促進と学生のノウハウ、知見の向上、地域の林業の課題解決を同時に満たすとともに、今後は産業化へ向けた展開に進化して欲しい。

ライフスタイル ｜ 新たな工法・素材活用の技術　入賞1

ハイブリッド耐火柱 T-WOOD TAIKA

大成建設（株）（東京都）、齋藤木材工業（株）（長野県）、日本インシュレーション（株）（大阪府）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】大成建設HP https://www.taisei.co.jp/about_us/wn/2018/181213_4540.html

概要　T-WOOD TAIKAは、角形鋼管の周囲を集成材により被覆することで、鋼管柱の強度を増大させるとともに、耐火性能を付与したハイブリッド柱部材。木材の有するしなやかさ・断熱性・質感といった特長を最大限に活用し、鉄骨造建物において無理・無駄なく木材利用できる技術開発を目指した。

評価ポイント　角形鋼管と集成材のハイブリッド耐火柱部材で、木材部分が座屈補剛材、燃えしろ層、仕上げ材としての役割を担う。外形寸法も小さくて済み、木の現しが可能になることで空間の木質感が向上し、木製家具や内装とマッチするデザインも可能になる。

ライフスタイル ｜ 新たな工法・素材活用の技術　入賞2

木材で座屈拘束した平鋼ブレース

大和ハウス工業（株）（大阪府）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】開発内容に関しては、日本建築学会ホームページにて閲覧可能。ただし、本ブレースを採用する場合には有償。

概要　一般的に、座屈拘束ブレースの拘束材には鋼材やコンクリート等が用いられるが、本ブレースは拘束材に集成材を用いることで、化粧材が不要で現しにできることを特徴としている。制振ブレースにも適用可能な高い構造性能を有している。本ブレースは、構造材としての新たな木材活用方法であり、さらなる木材利用促進に繋がる。

評価ポイント　地震時に圧縮力がかかっても折れ曲がりを防止するブレースに集成材を活用した、鉄骨造建物への木材利用に資する提案。空間内部からは力強い木質感を感じられるとともに、現にすることで二酸化炭素固定効果などを可視化させることもできる。

ソーシャル ｜ 仕組み・ネットワーク（生産・加工・流通・販売をつなぐもの）　入賞25

県庁職員がつくる木質ワークプレイスの実証実験

（株）日建設計｜Nikken Wood Lab（東京都）、徳島県木材協同組合連合会（徳島県）、徳島県庁（徳島県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】なし/2021年4月より、「つな木」の製品発売が開始予定（入手・連絡先：三進金属工業/担当：坪井 k_tuboi@sanshinkinzoku.co.jp）　応募作品については徳島県庁にて見学可能。日建設計（東京オフィス）でも類似の木質ユニット「つな木」の体験が可能。

概要　「誰でも、オフィスで気軽に木を用いることはできないか」といった課題などにチャレンジすべく、徳島県庁スマート林業課プロジェクト推進室に計14台の木質ユニット「つな木」を導入した。これらは、県庁職員および徳島県木材協同組合連合会が、累計3日ほどの作業時間で、自らの手で組立て、設置した。

評価ポイント　小径木を使って簡単に組み立てられる木質ユニットを使って自分たちの手でオフィスの木質化に取り組んだ事例で、DIY的なアプローチはもちろんだが、非木質空間との比較検証や実際の執務時におけるユーザビリティ検証など、データ収集と分析に役立てている点がよい。

ソーシャル ｜ 仕組み・ネットワーク（生産・加工・流通・販売をつなぐもの）　入賞26

古民家・古木サーキュラーエコノミー

（株）山翠舎（長野県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】無料。ただしその後の施工を山翠舎が実施/全国のKOBOKUレストラン・商業施設で、古木を活用した空間を体験できる

概要　古民家・古木（古材）の活用を通じて、「オフィス・商業施設・公共施設などの事業者」と「古民家の扱いに困っている所有者」を結び付け、日本の財産である古民家やそこで使われている古木（古材）・職人技の保全、空き家問題の解消、廃棄物の抑制、CO_2排出量の削減、資源の有効活用等に寄与する。

評価ポイント　古木の所有側、活用側のマッチングを促進するビジネスモデルで、古木の持つストーリー性や希少性などを活かしたアップサイクル型になっている。トレーサビリティやデータベースなどの仕組みの構築、メディアや物販といった生活者とのコミュニケーションにも注力している。

ソーシャル ｜ 仕組み・ネットワーク（生産・加工・流通・販売をつなぐもの）　入賞27

みなと森と水ネットワーク会議

みなと森と水ネットワーク会議（東京都）

【閲覧・入手/技術提供の方法】50,000円（年間参加費）/区との協定締結が条件

概要　港区と全国の林業が盛んな78自治体が協定を締結し、国産材の活用促進に取り組む連携組織。全国の自治体の連携による都市部での国産材を活用した取組として、「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」を実施するなど、都市部における国産木材活用のプラットフォームを築いている。

評価ポイント　認証制度は施行から10年目を迎えており、建築物は170件を超える成果をあげている。木材消費地と供給地を結ぶサプライチェーンの構築により、材のみならず人的交流や木材利用のスキルアップ、消費者の理解醸成など、都市部における木材利用の多面的な成果を期待したい。

ソーシャル ｜ 教育・研修システム　入賞28

木を見る目・施主と大工

大澤建築店（株）（長野県）、吉村建築（長野県）、宮下建築（長野県）信州大池建築（長野県）、（株）柳沢林業（長野県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】住宅のため非公開/https://oosawa-kenchikuten.info

概要　長野県北部小谷の根曲がりスギを梁に用いた。特殊材は一般的に流通されないが、地元にある木を使うことで、落ちてしまった山の価値を上げる取組み。日本建築の美は構造を見せる事にもある。構造を見せるには木の美しさを知らなければならない。木を活かす大工を目指し、後世にも木を見る目のある大工を育てる取り組みをする。

評価ポイント　豪雪地帯に見られる根曲がり材を活かした家づくりに挑んだ取組だが、材を見極め適所に使う大工の知恵と技を継承する、という点で重要な視点を持つ。美しくかつ長い時間残り続ける木材の良さは、素材と人の双方が継続しないと残せないことを教えてくれる事例である。

ソーシャル ｜ ビジネスモデル　入賞21

「きのこは木の子」森の恵みで育む特別な木の子えのきと地球循環型農業

（株）丸金（長野県）、職人館（長野県）、丸中ロッヂ（長野県）、長野森林組合（長野県）、（株）ダイシン（長野県）、（株）HONNOW（東京都）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】一株えのき野生種：298円（1袋）、一株えのき純白種：398円（1袋）、干しえのき：550円（1袋）味つけえのき：637円（1本）（全て税込）/松坂屋上野店、東武百貨店池袋本店、小田急百貨店新宿店等　連絡先：丸金 https://www.marukin.jp

概要　国産間伐材を培地活用したえのきたけ生産（木質培地活用えのき生産者は国内0.005%のみ。国内唯一の国産菌床使用認定企業）。森の恵みで育った特別な木の子えのきは、うま味・風味・栄養・アミノ酸豊富でトップシェフから人気。収穫後のきのこ菌が豊富な木質培地は農業（無農薬・有機堆肥）、畜産業（敷地）から人気で100%循環活用。

評価ポイント　外国産トウモロコシ芯培地が、主流の中、創業以来、木質培地にこだわり、食材としての品質向上と木材の有効利用を両立させている。木質培地ではえのきの約1.2倍の木材が必要となるため、転換すれば多くの間伐材利用につながる。持続可能な森林づくりと食材開発の新たな出逢いに期待する。

ソーシャル ｜ ビジネスモデル　入賞22

TOKYO WOOD STORY ～多摩の檜で造る東京の家～

（株）小嶋工務店（東京都）、（株）小嶋産業（東京都）、一般社団法人TOKYO WOOD普及協会（東京都）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】モデルハウスの見学無料、イベント（バスツアー等）への参加無料/小嶋工務店①東京都小金井市前原町5-8-15 ②宿泊体感モデルハウス：東京都小金井市貫井南町1-8-23 ③ハウジングプラザ三鷹第一会場1番区画 ④ハウジングワールド立川24番区画、37番区

概要　地産地消の家造りを通じて再生可能な地域社会を実現する循環型社会形成モデルである。住宅購入者・地域事業者と人に目を向けるだけでなく、森林資源の循環・維持保全と環境にも目を向け、地域材の利用から木材輸送時における二酸化炭素排出量の削減に寄与、消費者参加型バスツアーにて意識の向上と未来の人材育成も図る。

評価ポイント　多摩地域の林業家、製材工場、プレカット工場、工務店がタッグを組み、東京の森林資源活用へ向けた家づくりを中心としたビジネスモデルを構築、品質向上と消費者啓発の両軸を推進している良質な活動である。500棟を超える供給実績も高く評価できる。

ソーシャル ｜ ビジネスモデル　入賞23

世界的に価値の高いクラフトジンの商品化を通じた里山との関係構築

～ネズミサシの活用と持続的な育成～

中国醸造（㈱）（広島県）、田口生産森林組合（広島県）、賀茂地方森林組合（広島県）、（有）一場木工所（広島県）、広島県立総合技術研究所林業技術センター（広島県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】SAKURAO GIN LIMITED 6,050円（税込）/中国醸造 customer@chugoku-jozo.co.jp

概要　クラフトジンの主要な原料となるジュニパーベリーを地元広島の里山林に自生するネズミサシ球果で代用することができることから、産地の森林関係団体の協力をいただきながら、収集だけでなく森林整備も協働で行い、併せてネズミサシ材も活用することで次世代にも残せる産地形成の仕組みを作るとともに、商品の価値を高めた。

評価ポイント　地域の木と嗜好品の間に新たな接点を拓いた点、国産材を使ってその質を高めた点は重要である。住民、森林組合や林業技術センターと連携しながらネズミサシの産地形成を進めており、森の経済的価値向上と保全につなげている。クラフトジンの製品としての品質も高い。

ソーシャル ｜ ビジネスモデル　入賞24

「糸島産材」がつくる快適な森と住まい

糸島産材活用協議会（福岡県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】糸島市産の木材の活用を目指した取り組みのため、地産地消を担保するトレサビリティの費用が掛かり増しになる。「糸島産材」を木造住宅の管柱全てに用いた場合、1棟当たり約10万円の費用増となる見込み/https://www.facebook.com/itoshimasannzai/

概要　福岡県糸島市の環境に配慮した森づくりから産出された木材を、サプライチェーンの明確化によりトレーサビリティを確保し、「糸島産材」として糸島市の住宅部材・建材・家具に活用する地産地消の取り組みである。この取り組みにより、糸島市の森林に収益が還元され、再造林を含めた循環型林業が促進される。

評価ポイント　収穫期を迎えた地域材を適正な価格で流通させ、山や林業関係者に還元する仕組みをつくるという目的のもと、多様な事業者連携によるプラットフォームを構築した。天然乾燥材をブランド化し供給するとともに、コスト削減や選択肢の拡充など消費者メリットへの展開を続けており、林業地域活性に寄与している。

ソーシャル ｜ 普及・啓発（ツール・メディア）　入賞17

1964東京オリンピックゆかりの木プロジェクト

公益財団法人日本オリンピック委員会（東京都）、北海道（北海道）、遠軽町（北海道）、北海道家庭学校（北海道）、乃村工藝社・電通・電通ライブコンソーシアム（東京都）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】500円（日本オリンピックミュージアムの観覧料金・一般）400円（シニア65歳以上）高校生以下無料/日本オリンピックミュージアム　https://japan-olympicmuseum.jp/jp/　北海道家庭学校展示林（北海道・遠軽町）

概要　1964年、国土緑化推進委員会（当時）の呼びかけに応じて東京オリンピック参加国・地域の選手団から寄贈された種子を、造林に熱心な北海道遠軽町の北海道家庭学校の生徒たちが50年以上大切に育てていた。そのことを契機に開始された、オリンピックの縁と国際交流のレガシーを、世界に伝えるおもてなしのプロジェクト。

評価ポイント　ミュージアムの天井にはゆかりの木の木製ルーバーが設置され温かく美しい空間が来場者をもてなす。これは日本に一台しかない節あり突板を製作できる北海道内の事業者と連携による。年月を可視化してくれる森と木が、オリンピック・レガシーを次の世代にまた引き継いでくれるだろう。

ソーシャル ｜ プロモーション（単発）　入賞18

吉野杉シートを使った電車広告

奈良県奈良の木ブランド課（奈良県）、早稲田大学理工学術院創造理工学部建築学科古谷誠章研究室（東京都）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】なし（電車の中吊り広告のため）/近鉄奈良駅と阪神三宮間を走る電車1編成（6両）で展開（2020年3月16日～3月29日運行）

概要　吉野杉シートを使った中づり広告で電車1編成をジャック。吉野杉の木目や色合いの美しさ、香りの良さ等の奈良の木の特長や魅力を、運行する沿線（近鉄・阪神）の利用客に知ってもらい、認知拡大を図った。合わせてポータルサイト「奈良の木のこと」のサイト情報を掲載することで、サイトへの流入を促進した。

評価ポイント　電車の中吊り広告に本物の木を使うという面白い試みで、視認性も高く、アピール力に富むツールの開発である。広告内容そのものももちろんPRに貢献するが、木材の素材としての可能性を目の当たりにできることで、親近感が各段に高まる。QRコードを使ったフォロープログラムもよい。

ソーシャル ｜ プロモーション（単発）　入賞19

#カミハチキテル - URBAN TRANSIT BAY

一般社団法人地域価値共創センター（広島県）、広島市中央部商店街振興組合連合会（広島県）、広島修道大学ひろみらイノベーションスタジオ広島都心デザイン推進会議（広島県）、国立大学法人山口大学（山口県）広島市（広島県）広島県（広島県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】無料（飲食や物販販売などは別途費用）/社会実験による期間限定（2020年3月1日～4月26日）での設置

概要　広島都心のメインストリート・相生通りを「車を捌く道」から「歩行者が憩い、出会いが起こる道」へと転換を図る公共空間活用社会実験。ウッドデッキ、ベンチなど高質な木質化空間を車道上・遊休地に創出。歩行者の滞留を促し、体験価値を高めるだけでなく、都心体験型ショールームとして木材の新たな需要創造も行った。

評価ポイント　都市の木質化、地域材活用の新たな方向性、公共空間活用の再考、など複数の課題解決に取り組んだソーシャルデザイン・プログラムでプロセス、品質ともとても高い。木に親しみながら、体感したり集ったりできるサードプレイスはエリアに高い付加価値をもたらすことが実証されている。

ソーシャル ｜ プロモーション（定期開催）　入賞20

木をこよなく愛す 地球防衛軍 日田木レンジャー

日田 木レンジャー（大分県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】要相談/木レンジャー出演イベント情報 http://www.facebook.com/mokuranger

概要　次世代を担う子供たちが立ち上がり、林業・木材産業の発展をPRするために誕生した日田木レンジャー。人々が、もっと木を知り、もっと木を学び、もっと木と触れ合うことをミッションに、日田杉製の木レンジャーカーに跨り、颯爽と現れる。決め台詞は、CO2を食いつくせ！地球防衛軍木レンジャー！カーボンオフセット！

評価ポイント　ビジュアル、コンテンツともに訴求力が高く、思わず微笑んでしまう楽しさを持っている。林業、地域材が抱える課題に、子どもが戦隊ものになりきって闘うというシナリオは、深刻な問題を柔らかに自分事にさせる重要なアプローチであることを知らされる。

ソーシャル｜新たな工法・素材活用の技術　入賞7

2x4工法 床構面開発事業

ウイング（株）（東京都）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】オープン工法として検討中。令和2年度委員会はNPO建築技術支援協会の主導で実施。詳しくはウイングや建築技術支援協会へ問い合わせ。

概要　無垢大径材の必然性あるる活用を進めるべく取り組まれた、2x4工法における新規床組みの開発事業。躯体精度向上、コスト削減、施工省力化、運送負担軽減、意匠性向上が達成されている。

評価ポイント　床や壁の構成部材の大断面化によって国産大径材活用を進めるとともに、剛性や精度などの向上にも寄与する社会提案性の高い技術と言える。構造上、開口部の制約が減るため、サッシの取り付けなど空間デザインの自由度も上がる。

ソーシャル｜新たな工法・素材活用の技術　入賞8

住友林業オリジナル2時間耐火木質柱梁部材

住友林業（株）（茨城県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】耐火性能の技術説明は日本建築学会2020年度大会（関東）学術講演梗概集DVDで閲覧可能（PDF番号3098番）。成果を使用、利用する場合は住友林業株式会社に問い合わせ。https://sfc.jp/information/news/2020/2020-04-30.html https://pdf.gakkai-web.net/gakkai/aij/session20/pdf/3000.pdf

概要　CLTを耐火被覆に利用した柱と梁の2時間耐火構造部材。CLTは躯体の外側に浮かして貼り、裏側に通気層となる隙間があるため湿気に強く、仕上げ面は寸法安定性がある。部材の製作は工場と現場のどちらも可能で火災後の改修も容易。また、一部に照明等を納めることも可能で多様なデザインニーズに応えることができる。

評価ポイント　不燃材の外側に浮かせるようにCLTを取り付ける独特の構造で、材料に一般流通しているものを使ってコストを抑えている。梁部材では照明やスプリンクラー設備を納められるデザインの拡張性もあり、中高層木造建築物に新たな選択肢を与えるものである。

ソーシャル｜実験住宅・施設　入賞9

Hokkaido CLT Pavilion

地方独立行政法人北海道立総合研究機構林産試験場（北海道）、（株）遠藤建築アトリエ（北海道）、（株）京田組（北海道）、北海学園大学工学部建築学科（北海道）、北海道大学大学院工学研究院建築環境学研究室（北海道）東京工業大学環境・社会理工学院環境建築学講座（東京都）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】事前の問い合わせにより一般の見学可能。問い合わせURL: http://www.hro.or.jp/list/forest/research/fpri/sugata/kengaku.htm

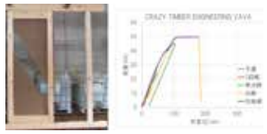
概要　直交集成板(CLT)の異方性の少ない材料特性、大面積の大判パネル、北海道産樹種の意匠性や強度特性を活かしながら、従来の木造にはないダイナミックで開放的なデザインを実現。多雪寒冷地の実環境下で様々な性能検証と経年観察を行う実験棟であり、北海道産CLTの特徴や利用方法を広く伝える展示施設でもある。

評価ポイント　カラマツ、トドマツの特徴を活かした新規性ある木造デザインに挑み、寒冷地の環境で様々な性能検証を行う実験棟。温熱環境のデータ測定など様々なエビデンスを得ており、これらの知見を活かした本地域ならではのCLT建築物の普及に貢献するものである。

ライフスタイル｜試作品　入賞3

VAVA ～MDFで作る未来の耐力壁～

CRAZY TIMBER ENGINEERING（東京都）、東京大学木質材料学研究室（東京都）、（株）ポラス暮し科学研究所（埼玉県）、（株）ノダ（東京都）、シネジック（株）（宮城県）



【費用/体験・入手方法（連絡先）】（技術情報は下記の書籍で木質構造研究会会員に限り閲覧可）落合他：Proceedings of the Timber Engineering Forum, pp31-34, No.23, 2019.12（荷重変位データ・加力の動画は下記のURLから誰でも閲覧可）http://kabe-one.main.jp/

概要　VAVAは、MDFの利用拡大のために製作した厚物MDFを用いたスリットを持つ未来の耐力壁。スリットは、意匠的にはデザインのアクセントとなり通風や採光を確保すること、構造的には逃げを作り靭性を確保することを狙っている。また樹種やビス、その組み合わせにこだわり、最大荷重約50kNを達成している。

評価ポイント　対角線上にスリットを設けた、意匠的に特徴あるMDFの耐力壁である。無表情になりがちな面材耐力壁にデザイン的要素を付加させるとともに、一般流通している製材、MDF、ビスの組み合わせで高強度の耐力壁が可能になる点で汎用性が見込める点もよい。

ハートフル｜新たな製造・加工の技術　入賞4

立体格子の制作技法

木楽房六方華（兵庫県）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】既に公表した技術、成果については閲覧は自由。特許に該当する技術の使用は応相談

概要　意匠性の高い立体格子を、接続金物や接着剤などを用いないで、四方十字組手を用いて連続して組み続ける手法を開発した。これにより,意匠性の高い立体格子を平板状、正八面体、方錐体、塊状など様々な形にすることができ、空間の仕切り材、壁面・天井の装飾材、組木玩具等様々な場面での利用が期待できる。

評価ポイント　見た目の美しさを表現できる、水平垂直3方向に立体的に組み上げられる組子で、中空の八面体のような独特のデザインの家具などに活かせる。組子に新たな活用の領域を拓くとともに、インバウンド向けの旅館の内装などにも効果を発揮しそうである。

ハートフル｜木材利用の環境や社会性を高める調査・研究　入賞5

寝室に木材系内装や家具が多いと働く人の不眠症の疑いが少ないことを実証：筑波大学睡眠疫学プロジェクト

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所（茨城県）、筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構（茨城県）、筑波大学医学医療系産業精神医学・宇宙医学グループ（茨城県）、帝京大学（東京都）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】研究成果はウェブ上で公開。論文（英文）https://doi.org/10.1186/s10086-020-1852-y /プレスリリース（和文概要）http://www.ffpri.affrc.go.jp/press/2020/20200218/index.html

概要　「健康に良いこと」を示すエビデンス（根拠）は、木材の利用を広げていくチャンスである。疫学調査により、働く人の自宅の寝室で木材系内装や家具が多いと不眠症の疑いが少ないことをデータにより初めて明らかにした。好みに応じて自宅の寝室に木材・木質を取り入れるという実践的に展開しやすい内容の研究である。

評価ポイント　本研究では睡眠のメカニズム、睡眠と心身の関係、木材の健康効果の3つに取り組んだ点が重要である。エビデンスが整うことで、寝室の家具や内装材に木材を使うことの必然性が認められ、利用がさらに加速されることを期待したい。

ハートフル｜木材利用の環境や社会性を高める調査・研究　入賞6

未利用森林資源の有効活用に向けた北海道の樹木成分の機能性研究

一般社団法人Pine Grace（北海道）

【費用/体験・入手方法（連絡先）】当法人に直接問い合わせ。https://pinegrace2017.wixsite.com/akaezo/inquiry

概要　林地残材等の未利用資源の有効活用に向け、樹木成分の有する抗菌性やリラックス効果等の機能性に着目し、成分分析等の基礎研究のほか、当法人の強みである獣医学的知見を活かした動物への臨床試験など実施している。また、研究成果を普及するため、民間企業や地域と連携した製品開発・原料提供などにも取り組んでいる。

評価ポイント　北海道に多いアカエゾマツに着目し精油の機能性研究から、人の抗ストレス効果のほか畜産における牛の病気改善などへの活用も研究している。アカエゾマツの持つ成分の付加価値化と商品化を通じ、森林保全と新産業創出に貢献する意義ある取組である。

審査委員会からのメッセージ

審査委員長 **赤池 学**

ウッドデザイン賞も6回目を迎え、良い意味での転換期に入ったという感覚を持った2020の審査であった。建築・空間分野では中高層建築の木造、木質化の果敢なチャレンジが目を引いた。一般住宅も単に木を使っただけではなく、それを活かした心地よさや適材適所の木の使い方など実験的・提案的な作品が受賞している。木製品分野も素材に木を使ってみたというだけの作品には厳しい評価となった。これはもっと地域のデザイナーやデザイン系の大学などと連携をして作品の質を高めて欲しいという私たちからのエールでもある。斬新で洗練された、次なるウッドデザイン賞の登場に期待したい。

★分野長

コミュニケーション分野

山崎 亮★

「これも木でできるんだ」「こんな風に木を使いたい」と思ってくれる出口を増やすことが大切な賞だったんだと強く感じた。森や木の良い循環を回すこともとても大切だが、そこに留まらずそれを使った意欲的なプロジェクト、製品やサービスの提案が重要だ。

戸村亜紀

素材としての木、仕事場としての森の伝え方はとても良くなった。サーキュラーエコノミーの視点やまだ大きく日の当たらない分野での木の活用も増えた。取組のタイトルの見せ方は重要で、「人」「自然」「循環」のどこに焦点を当てたのかを明確にするとよい。

古田秘馬

これまで都市部での木の価値を高めるための提案が多かったのに比べ、今は地域の循環が注目されている。都市から地域へのシフトという潮流の中で、若い世代もそこに関わることがトレンドになっている。受賞作を参考に次の連携や学びの活動に展開して欲しい。

若杉浩一

今年から審査に加わったが、社会をどう見るかという視点から、木材利用や木との関わり方を考えている先進的な賞だと感じた。地域資源を市民が動かす活動や森林を通じた食産業への展開は注目すべき分野であり、それらをいかにデザインするかが大切と思う。

技術・研究分野

伊香賀俊治★

CLTを内装に使うための耐火被覆技術など、木材利用の普及拡大につながる良い作品が多かった。研究では、内装木質化と睡眠の質の関係に関する研究が印象に残った。木質化がもたらす人への効果測定の面でも森林系と医学系の連携は今後も求められてくるだろう。

相茶正彦

技術開発においては、一定の成果が出るか、そのエビデンスを取ることができるかが重要なポイント。そのうえで発展の可能性を感じさせる提案を選びたい。今後は、自治体の積極的な活動に新たな技術やアイデアを盛り込んだ応募が増えることを望んでいる。

青木謙治

新しい技術や研究では新たなチャレンジをしている点は評価したいが、作り手の思いだけでなく、第三者的評価、客観的評価をとることが重要である。データは継続して取り続けることで新たな発見につながり、複数回の受賞もあり得るので挑戦を続けて欲しい。

恒次祐子

技術・研究分野では、その取組に対する姿勢や研究が目指すものが何であるかが最も重要だ。エビデンスも使用者の実感や声を集めるところから始めれば取り組みやすい。そのうえで地域の木材の良さに精通する研究機関や大学からの助言や連携を進めてはどうか。

建築・空間・建材・部材分野

The Courier

隈 研吾★

人の暮らしや生業の中で木とうまく付き合うことを目指すというウッドデザイン賞の主旨に適う作品が顕著になってきた。社会のあり方や働き方が急激に変化した時期にあって建築と地域、木や森との関係性はますます深まっていくと考えている。

腰原幹雄

充実した作品群に出逢えた今年の審査だった。新技術を使った現代の木造建築の提案が増えてきた。その点でこれまで培ってきた技術を振り返り、新技術との融合も必要になってくる。時代の持つ価値観に合わせた木造建築の可能性をさらに探って欲しい。

鈴木恵千代

木を使った空間の持つしっとり感や質感が格段に上がってきた。一方で洗練されたデザインだが、まだ伸びしろがあるものも多く、こうした流れが設計者に伝わることでより新たな発想も出てくる。木を使った「普遍的な」デザインの登場を心待ちにしている。

手塚由比

全体のレベルが上がっており賞が浸透してきたことを感じる。新たなチャレンジや社会に対するメッセージがある作品が選ばれるようになっている。その空間で何を大事にしているか、利用者にとって細やかなデザインがされているか、を重視した審査だった。

木製品分野

益田文和★

審査を通じて、作り手とデザインの間に距離ができているのではないかと感じた。説明を聞かないと製品の良さに気づけないのではなく、使い手が自然に思いを受け取ってくれるものが優れたデザイン。単純な言葉で語れて、それが形になっていることが重要だ。

島村卓実

木の持つ「綺麗さ」を出して欲しいと思う。綺麗さには機能性、地域の意味、デザインの美しさの3つがある。なぜこの製品ができたか、背景や歴史、技術、人、これらの要素を組み合わせ、精査し、その中で初めて生まれるデザインこそが感動を呼ぶのである。

髙橋正実

モノからつくるのではなく、その先にある目的を明確に持ってデザインすることが大切である。各作品からは社会の大きな動き、例えばSDGsを意識していることが伝わってきた。あるべき未来像からの逆算、課題解決型のデザインをしていくとより広がると思う。

矢島里佳

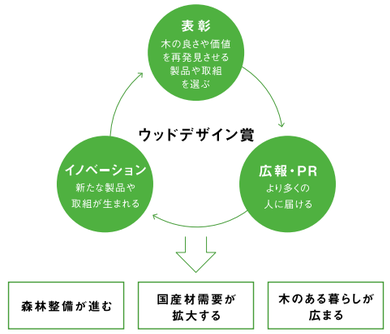
その製品を使う人、使うシーンをいかに想像してトータルなデザインをしているか、という視点で審査した。技術を磨きそれを形にする努力と同じくらい、誰を幸せにしたいのかという観察眼、感性を磨く努力も必要で、その両面からのデザインに期待したい。

ウッドデザイン賞創設の趣旨

ウッドデザイン賞は、木の良さや価値を再発見させる製品や取組について、特に優れたものを消費者目線で表彰し、木材利用を促進する顕彰制度です。建築、木製品、コミュニケーション、技術・研究など木材利用促進につながるすべてのモノ・コトを応募対象としています。

我が国においては、戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎えており、適正な森林整備を進めていくためには、国産材の積極的な利用を促進していくことが重要です。
ウッドデザイン賞は、木の良さや価値を再発見させる製品や取組について、特に優れたものを消費者目線で評価し、表彰する新しい顕彰制度です。
これによって“木のある豊かな暮らし”が普及・発展し、日々の生活や社会が彩られ、木材利用が進むことを目的としています。
受賞者には、様々な広報・PRの場を提供するとともに、生産から消費に関わる人のマッチングを進めていきます。

ウッドデザイン賞の目指すもの



ウッドデザイン賞2020　実施概要

- **主催／ウッドデザイン賞運営事務局（（特）活木活木森ネットワーク、（公社）国土緑化推進機構、（株）ユニバーサルデザイン総合研究所）**
- **募集期間／2020年6月22日（月）～7月31日（金）**
- **林野庁補助事業**
- **実施結果／応募総数432点　入賞191点　（入賞のうち）最優秀賞１点　優秀賞９点　奨励賞15点　特別賞4点**

表彰部門

ウッドデザイン賞は以下の3つの表彰部門を設け、消費者目線の木の良さや価値を持つ優れた製品や取組を表彰します。部門については、応募作品の特徴・内容と評価してほしい価値に合わせ、エントリーの際に応募者自らが選択します。

ライフスタイルデザイン部門

木を使って暮らしの質を高めているものが対象

木を使うことで機能性や利便性を高めている、新しい領域で木の活用が提案されている、消費者に木のある豊かな暮らしを提案している、建築、空間、木製品、コミュニケーション、技術・研究など。

ハートフルデザイン部門

木を使って人の心を豊かにし、身体を健やかにしているものが対象

木を使うことで快適性を高めたり、五感や感性に働きかける、リラックス効果や健康増進効果がある、作り手や担い手のストーリー性を伝えている、建築、空間、木製品、コミュニケーション、技術・研究など。

ソーシャルデザイン部門

木を使って地域や社会を活性化しているものが対象

木を使うことで地域や森林の活性化に貢献している、持続可能な森林利用の仕組みを生み出している、木材利用の意味を啓発したり、人材育成をしている、建築、空間、木製品、コミュニケーション、技術・研究など。

ウッドデザイン賞の構成

ウッドデザイン賞は以下の構成によって実施されます。第二次審査を通過した作品には「ウッドデザイン賞」が付与されます。ウッドデザイン賞受賞作品の中から、最終審査を経て、最優秀賞・優秀賞・奨励賞・特別賞が選出されます。

最優秀賞 1点　全部門において最も優れたもの。農林水産大臣賞

ライフスタイルデザイン部門	ハートフルデザイン部門	ソーシャルデザイン部門
優秀賞 数点 当該部門において特に優れたもの 林野庁長官賞	優秀賞 数点 当該部門において特に優れたもの 林野庁長官賞	優秀賞 数点 当該部門において特に優れたもの 林野庁長官賞
奨励賞 数点 当該部門において特に優れたもの 審査委員長賞	奨励賞 数点 当該部門において特に優れたもの 審査委員長賞	奨励賞 数点 当該部門において特に優れたもの 審査委員長賞

最終審査により選出

特別賞
「木のおもてなし賞」
日本の「木の文化」を活かした、施設・空間や木製品で「おもてなし」の考えに優れたもの

ウッドデザイン賞（入賞）　第二次審査を通過したものすべて

応募対象分野

木に関するあらゆるモノ・コトが応募可能です。
応募対象分野及びサブカテゴリを選んでエントリーしていただきます。

分野	中分類	サブカテゴリ
建築・空間 建材・部材分野	店舗・施設関係	店舗・商業施設、オフィス・会議施設、ホテル・旅館、子育て・学習施設、保育園・幼稚園、学校、病院・福祉施設、公共施設、モデルハウス・ショールーム、工場、倉庫、寺社・仏閣、可動式構造物
	住宅関係	戸建・注文住宅、量産型住宅、集合住宅
	リノベーション	住宅のリノベーション（古民家再生含む）、店舗・施設のリノベーション、オフィスのリノベーション
	屋外空間	公園、造園・緑化、外構、街づくり
	建材・部材	構造材、床・壁・内外装材、開口部（窓・ドア）、インテリア、エクステリア
	その他	その他
木製品分野	一般消費者向け	家具（ベッド含む）、雑貨・日用品、キッチン・食器、容器・パッケージ、寝具、照明器具、遊具・玩具、文具、楽器、伝統工芸品
	事業者・施設向け	オフィス・施設用家具、オフィス・施設用照明、オフィス・施設用設備、什器、店舗内装・装飾、大型遊具
	その他	その他
コミュニケーション 分野	各種活動・広報PR	イベント・ワークショップ（単発）、イベント・ワークショップ（定期開催）、普及・啓発（システム）、普及・啓発（ツール・メディア）、プロモーション（単発）、プロモーション（定期開催）
	パートナーシップ	ビジネスモデル、仕組み・ネットワーク（生産・加工・流通・販売をつなぐもの）、制度・条例（生産・加工・流通・販売をつなぐもの）、マッチング・サポート体制
	人材育成・人材開拓	教育・研修システム、資格・制度、イベント・表彰、ワークショップ（人材育成）、ワークショップ（人材開拓）
	その他	その他
技術・研究分野	技術	新たな工法・素材活用の技術、新たな製造・加工の技術、新たな流通・販売の技術、その他の技術
	調査・研究	木材利用の機能や快適性を高める調査・研究、木材利用の環境や社会性を高める調査・研究、木材の流通や販売促進に寄与する調査・研究、その他の調査・研究
	試作物	試作品、展示用製作物、実験住宅・施設、その他試作物 （新規性ある、各種の技術・研究・素材・設計を実証、検証するために実際に制作されたもの）
	その他	その他

審査委員会（敬称略・*印は分野長）

審査委員長

赤池 学（プロジェクトデザイナー、科学技術ジャーナリスト）

建築・空間・建材・部材分野

隈 研吾（建築家、東京大学 教授）※
腰原幹雄（東京大学 生産技術研究所 教授）
鈴木恵千代（空間デザイナー）
手塚由比（建築家）

木製品分野

益田文和（プロダクトデザイナー）※
島村卓実（プロダクトデザイナー）
高橋正実（デザイナー、コンセプター）
矢島里佳（伝統プロデューサー）

コミュニケーション分野

山崎 亮（コミュニティデザイナー、東北芸術工科大学 教授）※
戸村亜紀（クリエイティブディレクター）
古田秘馬（プロジェクトデザイナー）
若杉浩一（武蔵野美術大学 教授）

技術・研究分野

伊香賀俊治（慶應義塾大学大学院 教授）※
相茶正彦（木材・バイオマス利用コンサルタント）
青木謙治（東京大学大学院 准教授）
恒次祐子（東京大学大学院 准教授）

JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2020